

令和元年度 第2回 市川市自立支援協議会

日 時：令和元年9月4日（水）
午後1時30分～3時30分

場 所：急病診療・ふれあいセンター
2階 第2集会室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 連絡・報告事項
- 3 各専門部会・障害者団体連絡会の状況について
- 4 基幹相談支援センター運営協議会の報告について
- 5 地域生活支援拠点等について
- 6 人材確保に向けた自立支援協議会の取組について
- 7 閉会

市川市内障がい者福祉施設の運営主体を対象としたアンケート

(運営主体 _____)

日頃より本市障がい福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。
このたび、現在の障がい者施設の状況を把握し、今後の参考とさせていただくため、市内障がい者施設の運営主体を対象に、本アンケート調査を実施させていただくこととなりました。
ご多忙中のところ恐れ入りますが、ご協力いただけますよう、お願いいたします。

Q 1. 現在、施設運営を実施している中で困っていることはありますか。

①運営資金面について ア. 困っている イ. 困っていない ⇨ ②へ



どのように困っていますか

運営主体で取り組んでいること等がありますか

市に取り組んでほしいこと（要望）等がありますか

②支援員等の人材確保について ア. 困っている イ. 困っていない ⇨ ③へ



どのように困っていますか

運営主体で取り組んでいること等がありますか

市に取り組んでほしいこと（要望）等がありますか

裏面も お願いします

③利用者の確保について

ア. 困っている

イ. 困っていない⇒ Q2へ



どのように困っていますか _____ _____
運営主体で取り組んでいること等がありますか _____ _____
市に取り組んでほしいこと（要望）等がありますか _____ _____

Q2. 市内公立施設（身体障がい者福祉センター、フォルテ行徳、明松園）を、今後民営化または指定管理とするための公募をした場合、貴運営主体は運営を希望しますか。またその理由をお聞かせください。

ア. 希望する

イ. 条件によっては希望する

ウ. 希望しない

理由：

Q3. 市が施設建設の用地を確保できた場合、貴運営主体はその用地で障がい者施設の運営を希望しますか。またその理由をお聞かせください。（希望する場合で、運営にあたり市に要望等がある場合、その内容も併せてお聞かせください。）

ア. 希望する

イ. 条件によっては希望する

ウ. 希望しない

理由：
要望等：

アンケートのご提出は、9月6日までに「障がい者施設課」へお願いします。
ご協力ありがとうございました。

市川市福祉部障がい者施設課
連絡先 047-712-8549
FAX 047-712-8741

令和元年 8 月 23 日

障がい福祉関係事業者様

市川市 福祉部 障がい者支援課

市川市レスパイトサービス事業補助金に関する説明会の開催について

日頃より本市福祉行政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

市川市では、現在、レスパイトサービスへの補助事業を行っておりますが、令和 2 年度からこの内容を変更することとなりました。

つきましては、レスパイトサービス事業補助金の交付を受けている又は新たに交付を希望する事業所や、今後、レスパイトサービス事業を検討している事業所を対象に説明会を開催いたしますので、該当される事業所の方はご出席いただくようお願いいたします。

記

1. 開催日時

令和元年 9 月 20 日（金） 10 時～ ※1 時間程度の予定です。

2. 開催場所

市川市急病診療・ふれあいセンター 3 階 （市川市大洲 1-18-1）
障がい者支援課 支援ルーム

3. 参加確認

参加する場合のみ、9 月 13 日（金）までに、【法人名・事業所名・出席者名】を電話、メール、F a x などでご連絡いただくようお願いいたします。

4. 参考

レスパイトサービスとは、障がい者等を介護する家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図るため、又は当該家族の疾病、冠婚葬祭等の理由により、一時的に障がい者等を預かり、介護その他の必要な支援（宿泊を伴うものを含む。）を行うサービスを行います。なお、このレスパイトサービス事業の補助対象となるためには、宿泊対応ができること、専用の部屋を 1 室以上有すること、職員を 2 人以上確保すること等の要件があります。

【提出先・お問合わせ先】

〒272-8501

市川市南八幡 2-20-2

市川市 福祉部 障がい者支援課 管理班

担当：宮嶋 柴田

【電 話】047-712-8516

【メール】shogaishashien@city.ichikawa.lg.jp

【F A X】047-712-8727

第4次いちかわハートフルプラン策定に係るスケジュール(案)

2019/8/26

	R2 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3 1	2	3	備考
□アンケート調査													今回は実施なし
□障害者団体ヒアリング	・実施												
□パブリックコメント								←・実施→					
□講演会							・10or11/xx実施						
◎社会福祉審議会				①7/xx 計画策定方針について	②8/xx 報告第3次ハートフル進捗			③11/xx 間計画概要について(中)	④12/xx て【諮問】計画案につい		⑤2/xx 答申案の報告	【答申】	
◎障害者福祉専門分科会					①8/xx 計画案について①	②9/xx 計画案について②	③10/xx 計画案について③						
○自立支援協議会		①5/xx			②8/xx			③11/xx				④3/xx	
○計画策定プロジェクトチーム													今回は開催なし
○相談支援部会	①4/xx	②5/xx	③6/xx	④7/xx	⑤9/xx	⑥10/xx	⑦11/xx	⑧12/xx	⑨1/xx	⑩2/xx	⑪3/xx		
○生活支援部会		①5/xx		②7/xx		③10/xx			④1/xx		⑤3/xx		
○就労支援部会			①6/xx		②9/xx		③11/xx		④1/xx				
○こども支援部会						①10/xx				②2/xx			
○障害者団体連絡会		①5/xx			②9/xx		③11/xx			④2/xx			

部会開催日：6/13,7/11

(1) 連絡事項

- ・えくる 平成 30 年度報告
- ・児童虐待 相談支援カルテのデータベース構築方針について
- ・フードバンクのお知らせ

(2) 相談支援部会関連会議からの報告 別紙参照

①市川障害児者相談支援事業所連絡会 (Is-net)

- 5/29 総会・情報交換会
- 6/20 ぶっちゃんけ会
- 6/21 つたえるしえあ
- 7/4 事業所ツアー

②権利擁護連絡会

- 5/30 定例会報告
- 6/13 家族会

③精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

- 5/24 実務者会議

④高次脳機能障害児者サポート会議

- 5/28 会議開催

⑤拠点 WG

(3) ガイドライン

- 改訂
 - ・障害特性による相談のポイントに「視覚障害」「高次脳機能障害」を追加
 - ・介護保険との関係に 2 号被保険者と支給決定会議の記述を追加
 - ・成年後見について本人情報シートの記述を追加
 - ・その他時点修正等の軽微な修正

- 研修
 - ・第 1 日目 12/13 相談支援の理念・概念
 - ・第 2 日目 1/17 介護保険 2 号被保険者の制度と支援
 - ・第 3 日目 2/21 事例検討を基にアクションプランの作成内容及び担当者の決定。次回部会までに担当者間にて各回のタイトルと研修項目をきめてくることとした。

○今年度の取組

- ・後見 講演会「利用者がメリットを実感できる後見制度へ」
 - ・11/9 14 時から 市川教育会館にて
 - ・講師：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 成年後見制度利用促進室
成年後見制度利用促進専門官 川端伸子さんチラシ作成及び対象者の確認
- ・計画相談作成状況
 - 他市との比較においてモニタリング頻度や委託の相談支援事業所の可否についても興味深い比較となった。引き続き部会でも検証していく予定

【総会】

- 日時 : 令和元年5月29日(水) 13:30~14:10
場所 : 勤労福祉センター本館 第2会議室
議案 : ①会則の一部改正
②平成30年事業報告度
③平成30年度決算報告(監査報告含む)
④令和 元年度事業計画(案)
⑤令和 元年度予算(案)
⑥令和 元年度自立支援協議会・相談支援部会推薦者
⑦令和 元年度役員(役割)紹介

参加者 : 33名

【情報交換会】

- 日時 : 令和元年5月29日(水) 14:15~16:30
場所 : 勤労福祉センター本館 第2会議室
内容 : 情報提供(・65歳問題について ・受給者証の更新についての留意事項他)
市川市障害者支援課 野口様 遠藤様 相良様

【ぶっちゃけ会】

- 日時 : 令和元年6月20日(木) 15:30~17:00
場所 : 南八幡ワークス
内容 : 『日頃のストレスぶっちゃけましょう~相談支援あるある』
日頃の相談支援業務の中での悩み事や業務に関する情報の共有、対応方法など自由に意見交換を行った。

参加者 : 11名

【研修会】

- 日時 : 令和元年6月21日(金) 10:00~12:00
場所 : 全日警ホール
内容 : 『つたえるしえあ2』
相談支援の実際のケースについてグループワークを行い、具体的な対応や社会資源の活用などについて各グループで発表を行った。

参加者 : 11名

【事業所ツアー】

- 日時 : 令和元年7月4日(月) 10:20~15:00
見学先 : TEENS 本八幡(放課後デイサービス)、がんばる茶房(就労継続B型)
ONENESS(ワンネス)市川(就労継続A型)

参加者 : 5名

【I S - n e t 幹事会】

日時 : 令和元年7月19日(金) 10:00~12:00

場所 : 急病診療ふれあいセンター3F支援ルーム

議案 : ①各担当より報告・連絡

○ぶっちゃけ会担当より

- ・6月20日実施のぶっちゃけ会の内容について報告。
- ・次回ぶっちゃけ会 9月27日(金) 15:30~。終了後、懇親会を実施する。

○研修担当より

- ・6月21日(金)「つたえるしえ2」として研修を開催。内容について報告。
- ・次回研修『聞かないのはもったいない』8月30日(金)10:30~12:30 全日警ホール 2階 第1会議室で実施。

○事業所ツアー担当より

- ・次回は10月を予定。

②事務局より

- ・ホームページパスワード変更について。
- ・メールサービスの変更について。

③会長より

- ・来年度役員の任期終了に伴う幹事の選考について。
- ・グループスーパービジョンについて→Is-net 役員出席について調整

次回幹事会 令和元年9月2日(月) 10:00~12:00 急病診療・ふれあいセンター3F

以上

1. 定例会報告

- ・日時 5月30日 午後1時～3時 男女共同参画センターにて
- ・参加者 後見相談担当室、家族会4団体
- ・内容
 - ① 相談室より 法人後見受任数 13人。その内訳など。
 - ② 市民後見人候補者について 18名が活動中。今年度中に家裁より市民後見人として選任される予定。
 - ③ 今年度の後見セミナーについて
 - ◎11月15日(金) 午前10時より
 - ◎講師 最首悟氏
 - ◎後見のことを含めて、一人一人の命の重さについて語っていただく。

2. 権利擁護連絡会家族会報告

- ・日時 6月13日 午後1時～3時 全日警ホールにて
- ・参加者 後見相談担当室 家族会4団体
- ・内容

今年度の関連する研修会についての確認と打ち合わせ

 - ① 「障害のある人と家族にとっての8050問題を考える」 主催 市川手をつなぐ親の会
 - ◎10月2日(水) 午前10時～午後1時 全日警ホールにて
 - ◎講師 全日本手をつなぐ育成会連合会会長 久保厚子氏
 - ※チラシを添付
 - ② 「利用者がメリットを実感できる後見制度へ」 主催 自立支援協議会相談支援部会
 - ◎11月9日(土) 午後2時～ 教育会館
 - ◎講師 川端伸子厚生労働省専門官
 - ③ 「いのち輝く後見制度をめざして」 主催 市川市・市川市社協
 - ◎11月15日(金) 午前10時半～ 生涯学習センター グリーンスタジオ
 - ◎講師 和光大学名誉教授 最首悟氏
 - ④ 家族を対象にした後見制度についてのわかりやすい研修会 主催 権利擁護連絡会家族会
 - ◎今年度2月または3月に開催
 - ◎促進法によって変わることなどを理解し、よりよい後見制度の活用について、研修をする。また計画相談と後見との連携など事例をもとにわかりやすく説明をする。

次回予定 9月3日 午後1時より 全日警ホールにて

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業からの報告

第1回 実務者会議

日時：5月24日(金)

委員：式場病院、中山病院、国府台病院

中核、市川市基幹、浦安市基幹(欠席)

指定一般相談支援事業所 市川市内 5事業所(うち1事業所欠席)

浦安市内 1事業所

市川市 障がい者支援課、介護福祉課

浦安市 障がい事業課、障がい福祉課、地域包括支援センター

千葉県 障害者福祉推進課(欠席)、精神保健福祉センター、市川保健所

議題：①事業説明(市川保健所)

②他圏域の取組紹介(精神保健福祉センター)

③今年度の取組 ※別紙『長期入院アンケート調査』参照

④事例紹介

⑤全体協議

- ・アンケート調査については中山病院より情報提供を受けた江戸川区が実施している内容を元に作成を行い、委員の方々より意見を頂き合意が取れた。
- ・病院の相談員が記入する前提で、『退院の見込み』の欄があるが、今回のアンケート調査の目的としては、圏域内の病院に入院している市民の数の把握である。
- ・今年度より、介護福祉課等を委員として加わってもらったので、事例紹介を行った。長期入院かつ要介護1の方のケースを紹介したが、病院内では身辺自立と判断されているが、いざ地域生活になった際、単身でどの程度の生活能力があるのか、退院を考える上ではしっかりとアセスメントしてもらいたいとの意見があった。
⇒入院中の方のアセスメントを行うことの難しさ
⇒入院生活と地域生活とのギャップ
- ・委員の方々からは、システムの構築、地域移行の促進等取り組んでいかなければならないことは理解しているものの、特に地域移行支援については十分に組み合わせていないとの報告が目立つ

今後の取組(案)

- ① 病院、事業所ともに普及啓発が引き続き必要
- ② 介護分野との勉強会の企画
- ③ パンフレットの作成

高次脳障害児・者サポート会議

開催：R1年 5月28日 18:30~20:30

参加機関：地域活動支援センターココ（OT含む）、身体障害者福祉センター
えくる、がじゅまる、ほっとハートリンク
障害者支援課（OT含む）、千葉リハ高次脳支援センター

1) 千葉リハ高次脳支援センタースタッフと地域の事業所による定例の事例検討

- ① ほっとハート相談支援事業所リンク 相談支援専門員より
30代女性 視覚障害もある高次脳機能障害の方の支援について
本人のリハビリ、日中活動、家族支援など

2) 地域活動支援センターココについて

スタッフ配置：管理者1名、支援員1名、OT1名、ST1名

利用状況の報告と課題

課題：ココ利用後の地域での受け皿について

- ① 高次脳の方に対応できる生活介護の事業所不足
- ② 若い介護保険利用者のデイサービスの情報不足 など

ココの機能として：市川市に住んでいる方やそのご家族にとって有益となる情報をココに集約していき、その情報を地域の支援者にも発信していきたい。

3) 介護保険の2号保険者で、高次脳機能障害がある方が使える地域支援のアンケート調査を検討中（中年層が多く利用しているデイサービスなど）

4) 今年度のガイドライン研修にて

- ①ガイドライン本文中に「高次脳機能障害」の記述を追加してもらうこととなる
- ②ガイドライン研修にてアンケート結果の公表と、高次脳機能障がいの方への支援についてをテーマにした時間を設けてもらうこととなる

【その他：来年度以降の千葉リハ高次脳支援センターとの関りについて】

千葉リハより：千葉リハ高次脳支援センターが高次脳サポート会議に関わってから12年が経ち、千葉リハとしても、市川市の形をモデルとし、他市などにも広げていきたいと考えている。

来年度からは、市川においては、いままでのような事例に対する助言を行うような関りではなく、市川市内における地域課題などについていっしょに考えていく方向にしていきたいと思っている。例：医療機関との連携について（市内や近隣市のリハ病院や、精神科医師への高次脳理解など）今後も意見交換していきたい。

1. 部会

第3回を8月27日に開催。(第2回は7月9日) 関連会議等からの報告等。

- ・障がい者支援課より障害認定区分の有効期間の設定についての説明
- ・地域生活支援拠点に関するグループワーク
- ・障害者週間イベント、里見祭ハートフルツアーについて共有

2. 各連絡会・会議等の活動報告・計画等

(1) 日中活動連絡会

日程	議題
第1回 6月17日(月)	・31年度日中活動連絡会担当者について ・31年度計画について
第2回 8月19日(月)	・定例会 ・共生型サービスについて 内部勉強会
第3回 10月21日(月)	・定例会 ・共生型サービス見学会(予定)
第4回 12月23日(月)	・定例会
第5回 2月17日(月)	・31年度総括&32年度計画

(2) グループホーム(GH)等連絡協議会

①6月9日 総会兼例会(管理者・サービス管理責任者勉強会)開催

市川市急病診療ふれあいセンター3階支援ルーム 14事業所19名参加

総会(審議):昨年度事業報告・今年度事業計画案・役員改選・会則改定

例会:「他のGHの管理者・サビ管に聞いてみたいこと」(座談会形式)

入居者の喫煙・GHの消防設備・避難訓練等の話題を自然発生的に情報交換

②8月6日 第1回世話人交流会開催

市川市急病診療ふれあいセンター3階支援ルーム 7事業所11名参加

「世話人みんなで話そう!聞こう!」(座談会形式)

感染症・利用者の入浴・本人のこだわりとその支援・軽度障がい者の支援・

利用者との距離感・人材発掘等の話題を自然発生的に情報交換

(3) 居宅支援連絡会

①第1回 10/9(水)午後 支援ルーム

- ・障がい者支援課より、居宅介護事業所への事務連絡等
- ・重要事項説明書に関する注意事項、セルフプランについてなど
- ・グループワーク

人材確保又は事業所が抱えている問題

② 第2回 2月頃予定

(4) 重心サポート会議

◆定例会 7月8日(月)10:30~12:00

- ①お泊りどれみについて・・・参加利用者(女性3名、男性1名) ※下記に報告あり
日程:8/17(土) 16:00 ~ 8/18(日) 15:00
- ②医療的ケア児連絡会の振り返り・・・今後、重心サポート会議の場でも話し合いを行う。
(目標、整備、連携、人件費、家族支援など)

◆重度心身障害児者 研修会について

広報掲載予定。7月中旬に日付、開催場所、講師、内容を決める

①10月研修会

開催日:10月17日
場所:市川市医師会館(市川真間)
講師:大野医師
内容:吸引について

②12月研修会

開催日:12月、曜日未定(家族会、西口氏対応中)
場所:全日警ホール(本八幡)
講師:柏ブルーム

③2月研修会

開催日:2月14日
場所:全日警ホール(本八幡)
講師:らいおんハート児童デイ・理学療法士・坂本氏
内容:呼吸の見方

◆どれみブック(31年度版)について

平成31年度版ができたので配布してゆく。
配布場所:障がい者支援課・発達支援課・えくる

◆昨年度のアンケートについて

県で取りまとめをしている。9月には報告できる予定。

◇「お泊りどれみ♪」実施報告

令和元年8/17(土)16:00~8/18(日)15:00の2日間で実施。

宿泊場所は梨香園の宿泊棟の一階をお借りし、食事提供も梨香園の給食を頂くことができた。

参加利用者は、1名欠席で計3名の宿泊体験となった。

そのうち医療的ケアを必要とする利用者は1名の参加で、看護師は1日目は宿泊と2日目は引き継いでのケアとなった。

ボランティアスタッフは、宿泊スタッフを含め両日延べ40人以上の参加となり、入浴支援や食事介助等を通じてコミュニケーションや重度の障害のある方の支援体験をする事ができた。

また、参加ボランティアからも、いろいろな人と情報交換などが出来て良かったなどの感想も頂いている。

運営としては、来年以降も続けていき、地域生活支援拠点の在り方や、重心対応の宿泊施設設立に繋げていきたいと考えている。

3. 地域生活支援拠点

月1回のペースでワーキングチームでの話し合いを実施中。

→ 次第5にて

○就労支援担当者会議より

1. 新事業所 就労継続支援 A 型事業所
合同会社ここから「ふろーむひあ・ボンド」
2. 事業所ガイドブックの更新、
3. B 型アセスメントのアセスメントシートの見直し
4. 各事業所での最近の利用者傾向、課題共有、事例検討

○福祉的就労担当者会議からの報告

今年度の議題について

1. お仕事情報の共有
2. 商工会議所 会報誌掲載について
9月の市川商工会議所の会報誌に仕事発注の広告を掲載
3. 市川就労継続支援 B 型事業所ガイドの更新
4. 事例検討の実施

○共同検討

2020年3月13日(金) 就労支援部会研修 内容検討

こども部会
令和元年9月4日

「こども部会」関連会議の実施報告

① 「障害児支援連絡会」

日 時 令和元年6月25日 10時から12時
場 所 大洲ふれあいセンター2階
出席者数 38名
 (内訳) 障害児通所支援事業所 32名
 相談支援事業所・関係機関 6名
内 容 障害児通所支援事業所における取組み紹介

② 「重心サポート会議（医療的ケア児連絡会）」

日 時 令和元年6月27日 19時から21時
場 所 大洲ふれあいセンター3階
出席者数 19名
内 容 各機関より現状報告、情報共有

令和元年 9 月 4 日

市川市障害者団体連絡会報告(第 2 回自立支援協議会資料)

- 1、令和元年度市川市総合防災訓練（市民参加・体験型）8月25日開催への参加
障害者団体連絡会 11団体 当事者及び家族 40名 が参加しました。（報告書別添）
参加者からのアンケート等は、マニュアル作成等に活用すべく検討対応する予定。

- 2、【第2回役員会（6/21）、第3回役員会（8/2）開催】
 - ① 8/25の総合防災訓練実施への対応
 - ・各団体からの参加者を募るべき募集案内について
 - ・地域防災課等の打合せ状況の報告
 - ②障害者週間への参加
 - ・12月7日販売、スタンプラリー。8日ステージパフォーマンス等
各団体の参加を呼びかける
 - ③市社協からの福祉団体助成金について
 - ・各団体に配布し、申請は各団体が直接市社協に実施。
 - ④市障害者団体補助金について
 - ・市内小学校などへの配布が少なかったことなどから、
29年3月作成のバリアフリーハンドブックの改訂版を作成することを検討。

以上

令和元年度市川市総合防災訓練(市民参加・体験型)

令和元年 8 月 25 日参加 報告

障害者団体連絡会

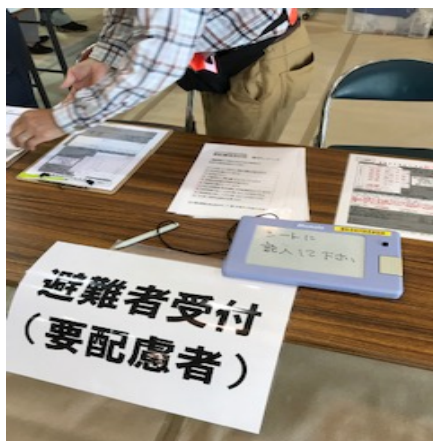
避難所開設訓練 (会場：福栄中学校体育館)

9:00 障害者団体連絡会集合

… 参加者に本日の訓練スケジュールについて説明(団体連絡会役員より)



9:30 体育館に避難者として入場
受付訓練…要配慮者カード等の記入



体育館にて避難所体験

受付終了後は

…福祉避難所 (いききセンター福栄)、
校庭で実施されている体験ブース
に行ったりしました。

11:00 炊き出し配布等



- 10 : 00 福祉避難所開設(会場：いきいきセンター福栄)
避難所(福栄中学)からのタクシーによる搬送訓練
…3名が参加(避難所の健康相談室にて面談後、搬送訓練を実施)



- 12 : 00 総合防災訓練終了

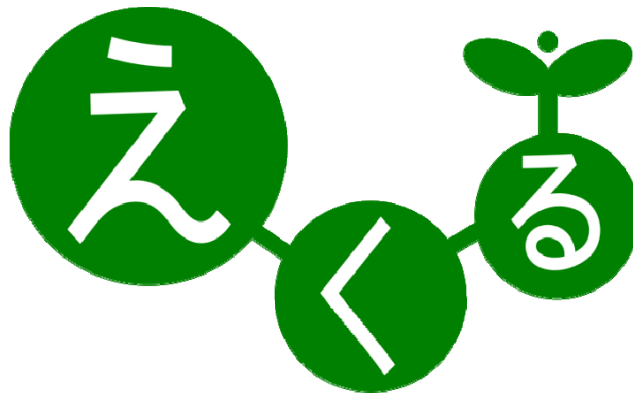


参加団体

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1、市川市ろう者協会 | 2、憩いフォーラム |
| 3、コスモ市川グループ | 4、松の木会 |
| 5、市川手をつなぐ親の会 | 6、市川市自閉症協会 |
| 7、にじの会 | 8、千葉県中途失聴者・難聴者協会 |
| 9、市川市肢体不自由児父母の会 | |
| 10、市川市オストメイトの会 | 11、そよ風の会 |

11 団体 当事者及び家族 40 名が参加しました。

市川市基幹相談支援センター



H30年度えくる報告

目次

1.えくる相談数

2.新規相談

1. 新規相談件数
2. 年齢別の状況
3. 居住形態別の状況
4. 障害の状況
5. 手帳
6. 相談概要
7. 相談元

3.新規相談の分析

1. 居住形態と相談概要
2. 障害と相談概要
3. 相談元と障害種別

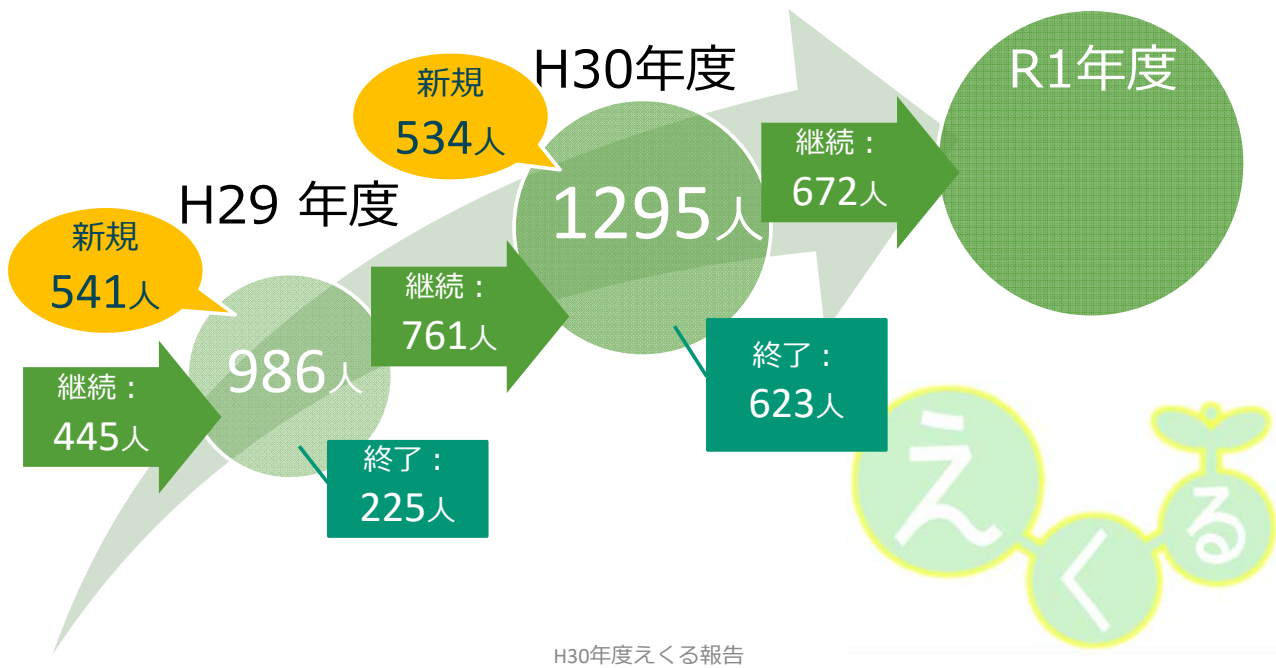
4.終了ケース

1. 終了理由
2. 終了までの経過日数

5.今年度の相談の傾向について

1. 8050とひきこもり・社会的孤立
2. 65歳以上で障害のある相談者
3. 居住サポート

1.えくる相談数

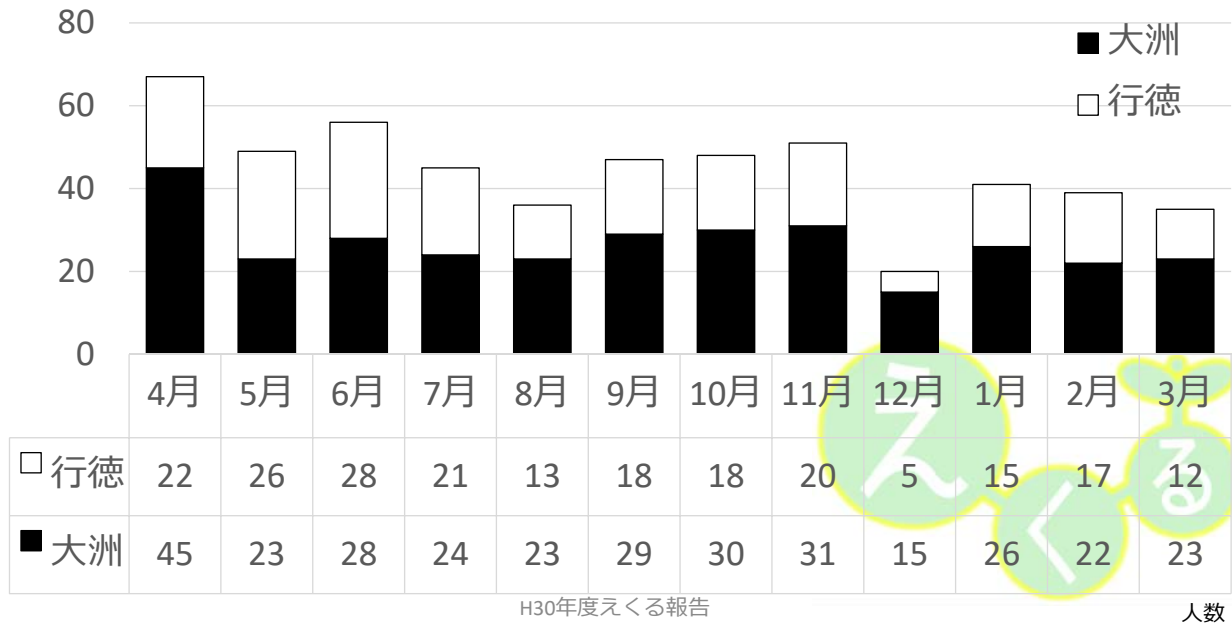


2.新規相談

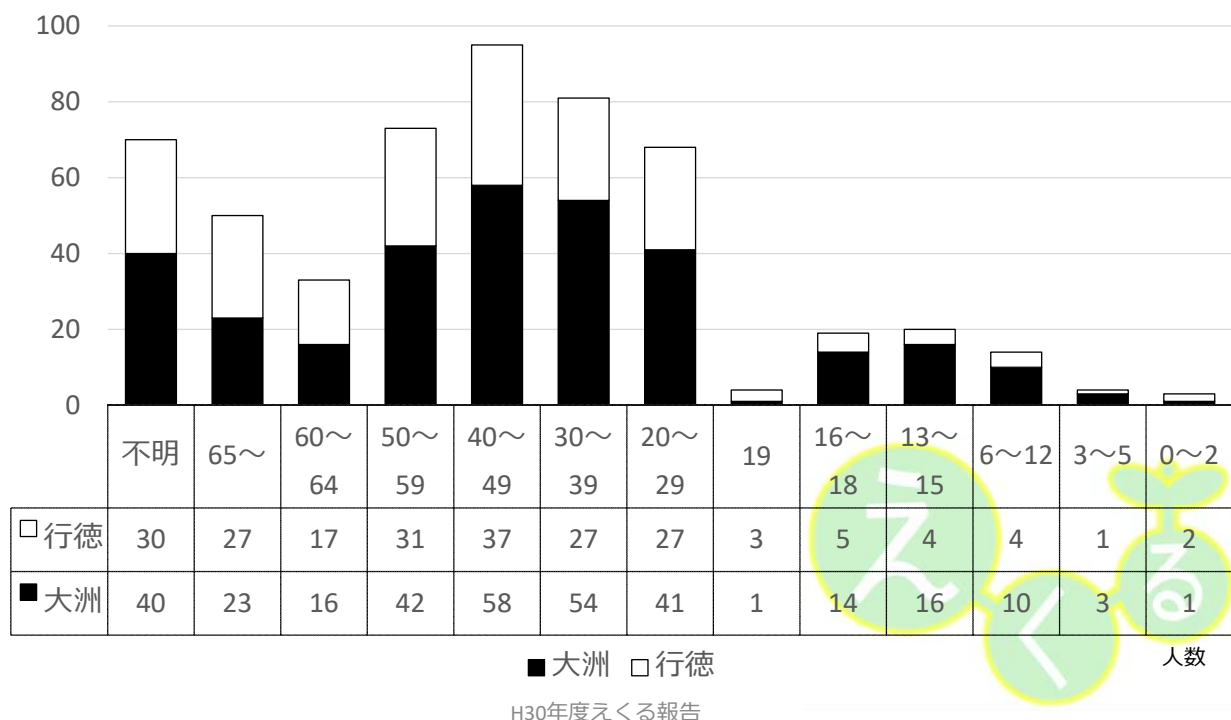


2-1. 新規相談件数

合計 (昨年度)	534 (541)	大洲	319 (305)	行徳	215 (236)
-------------	--------------	----	--------------	----	--------------

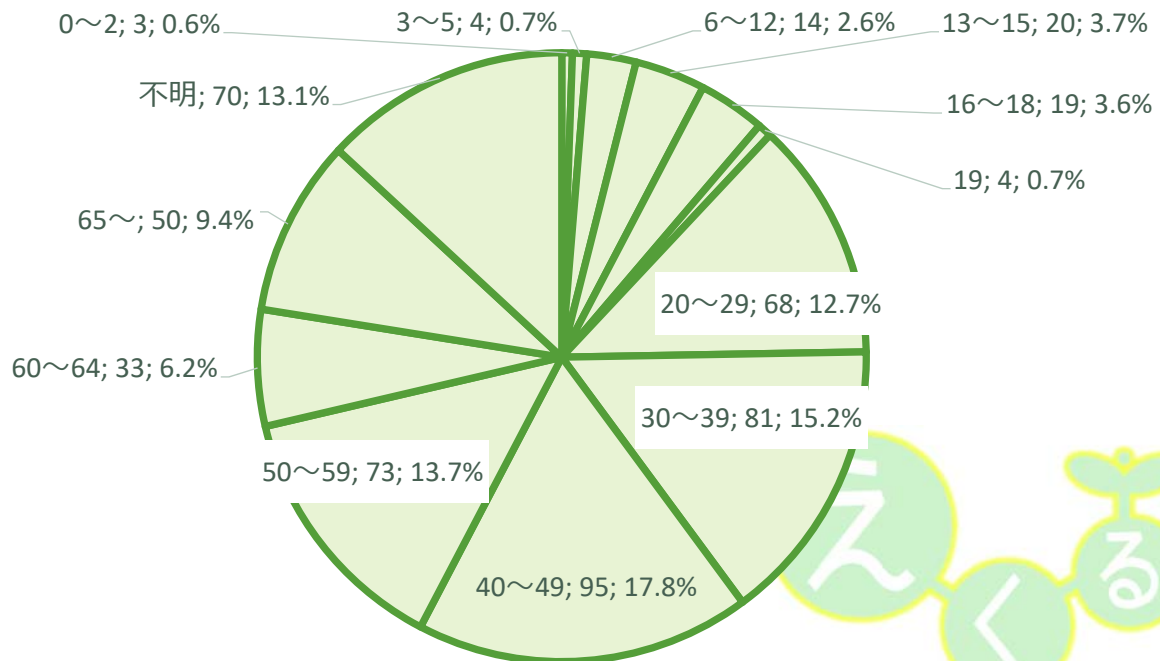


2-2. 年齢別の状況



2-2.年齢別の状況

【年代;人数 ; %】で表記

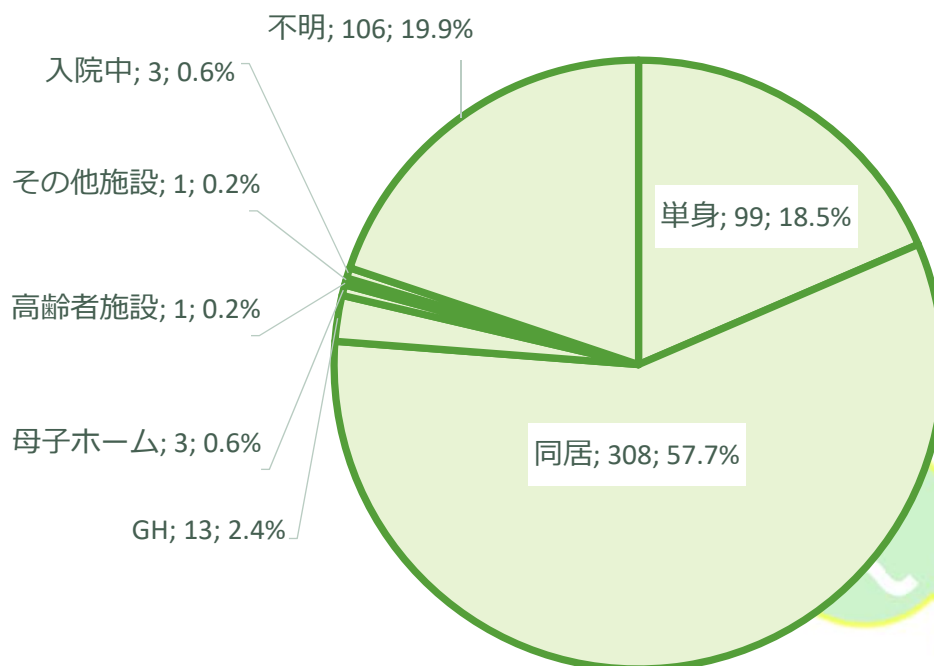


H30年度える報告

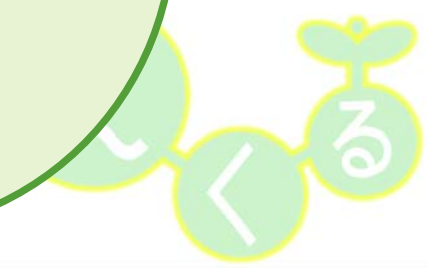


2-3.居住形態別の状況

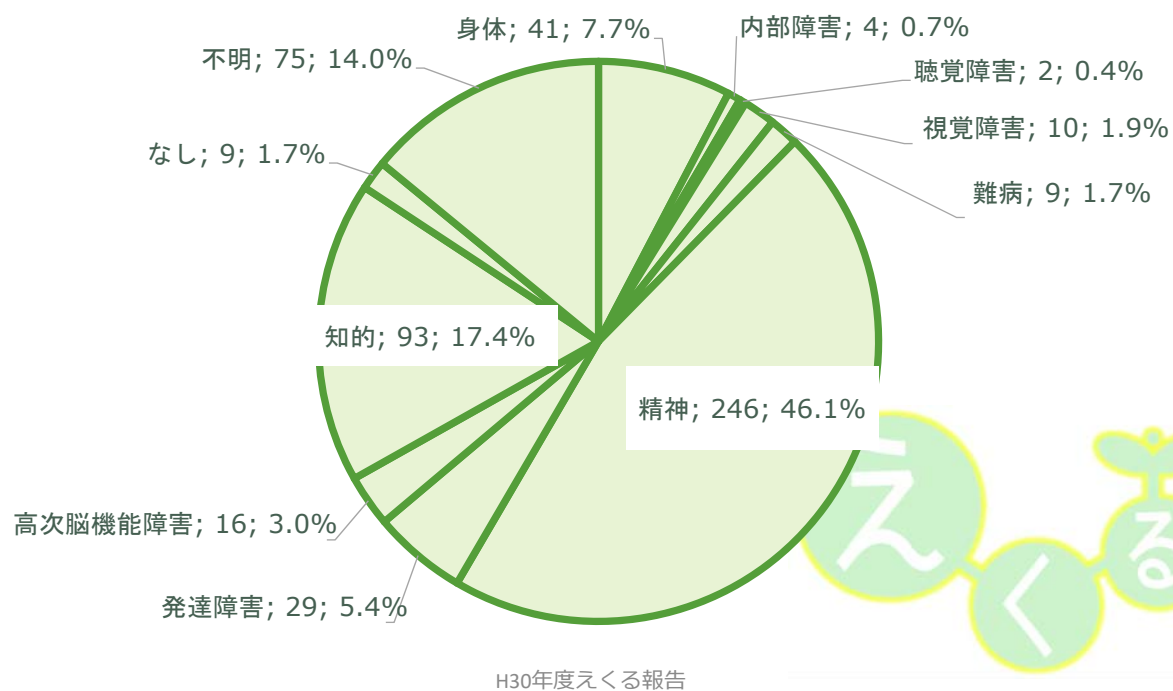
【居住形態;人数 ; %】で表記



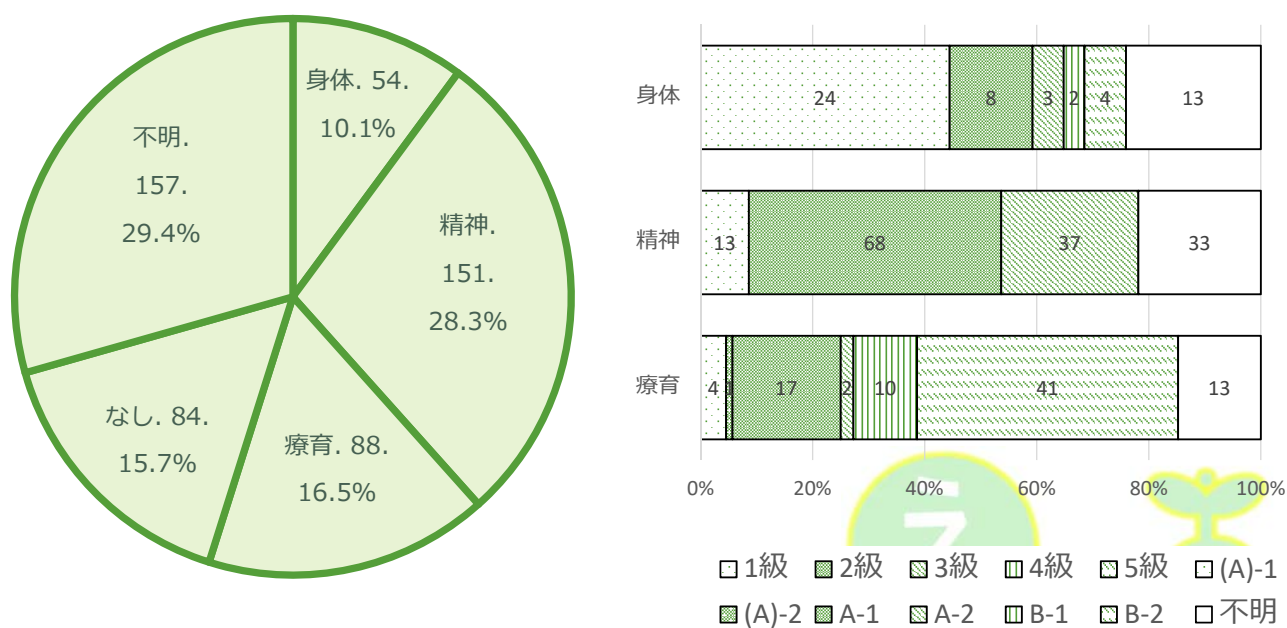
H30年度える報告



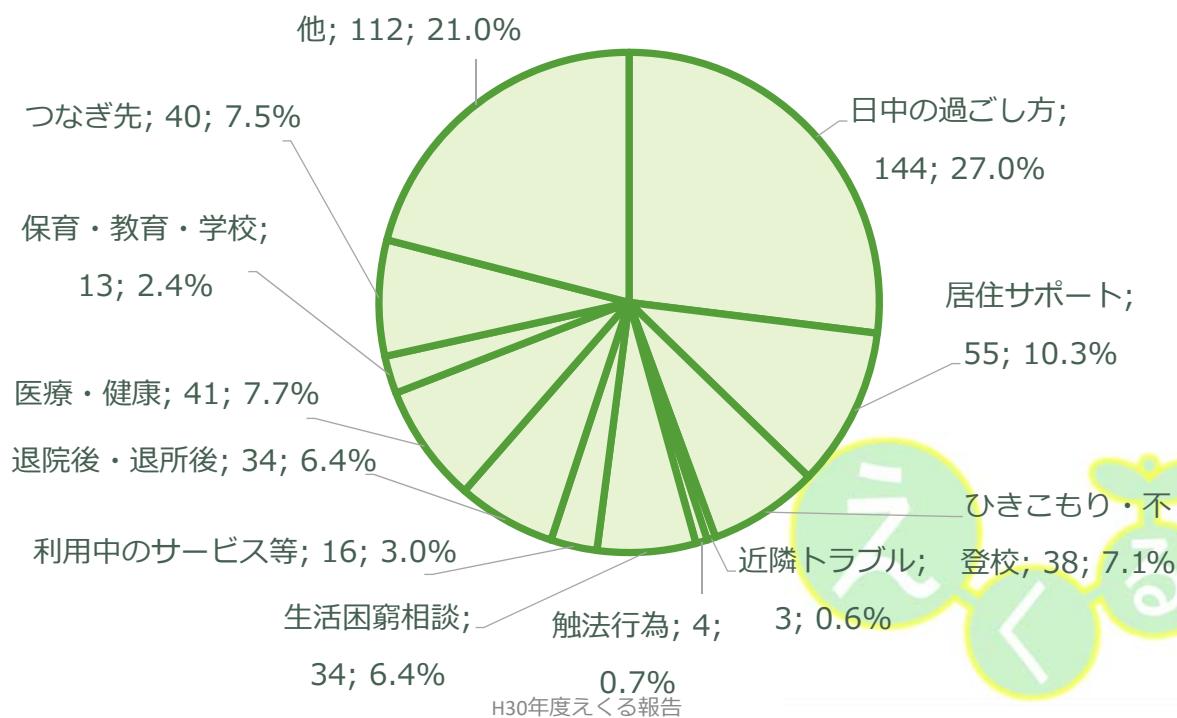
2-4.障害の状況



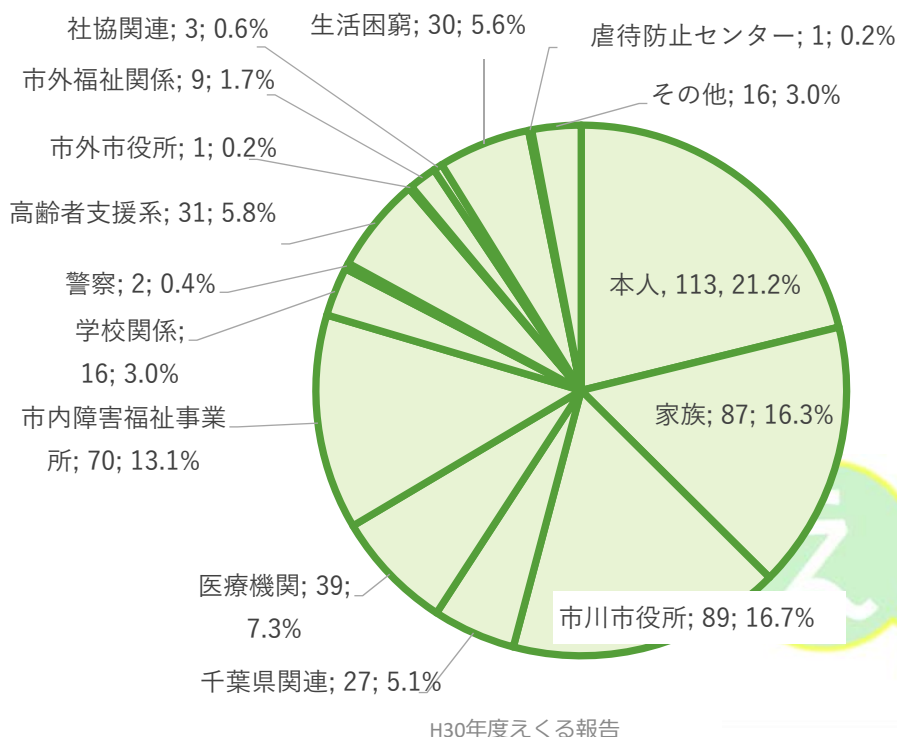
2-5.手帳の状況



2-6.相談概要



2-7.相談元

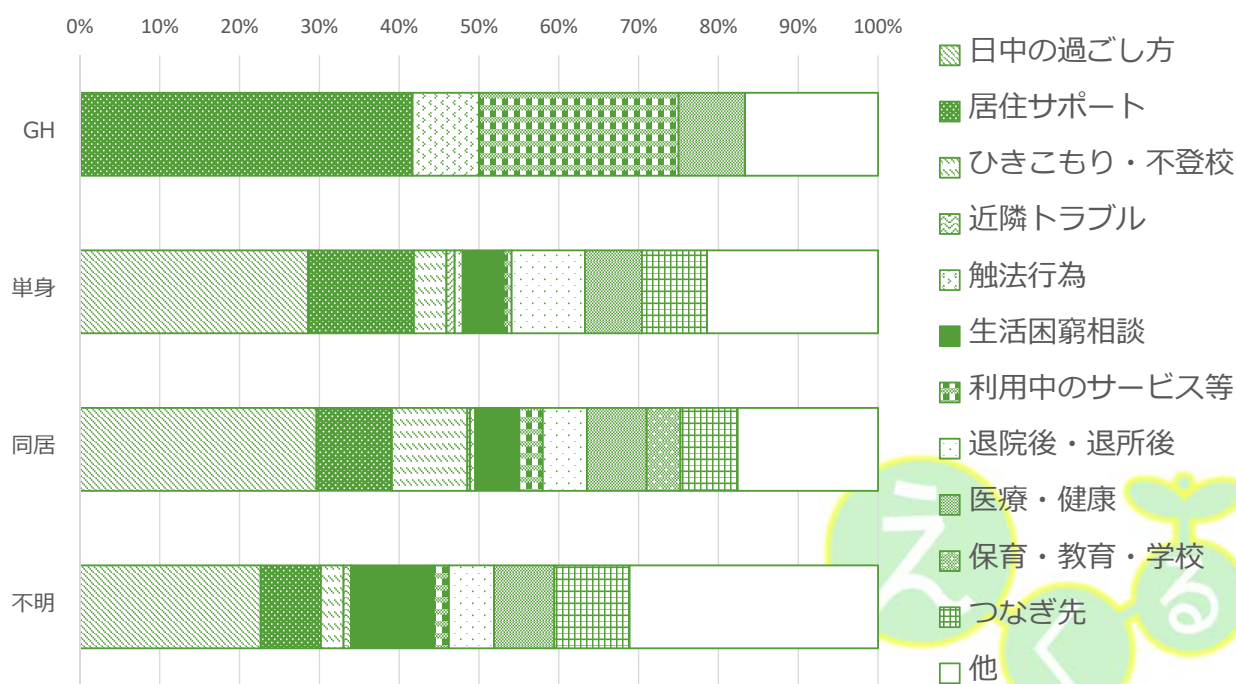


3.新規相談の分析

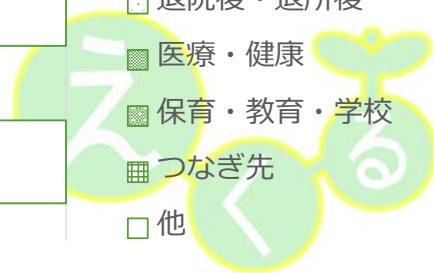


H30年度えくる報告

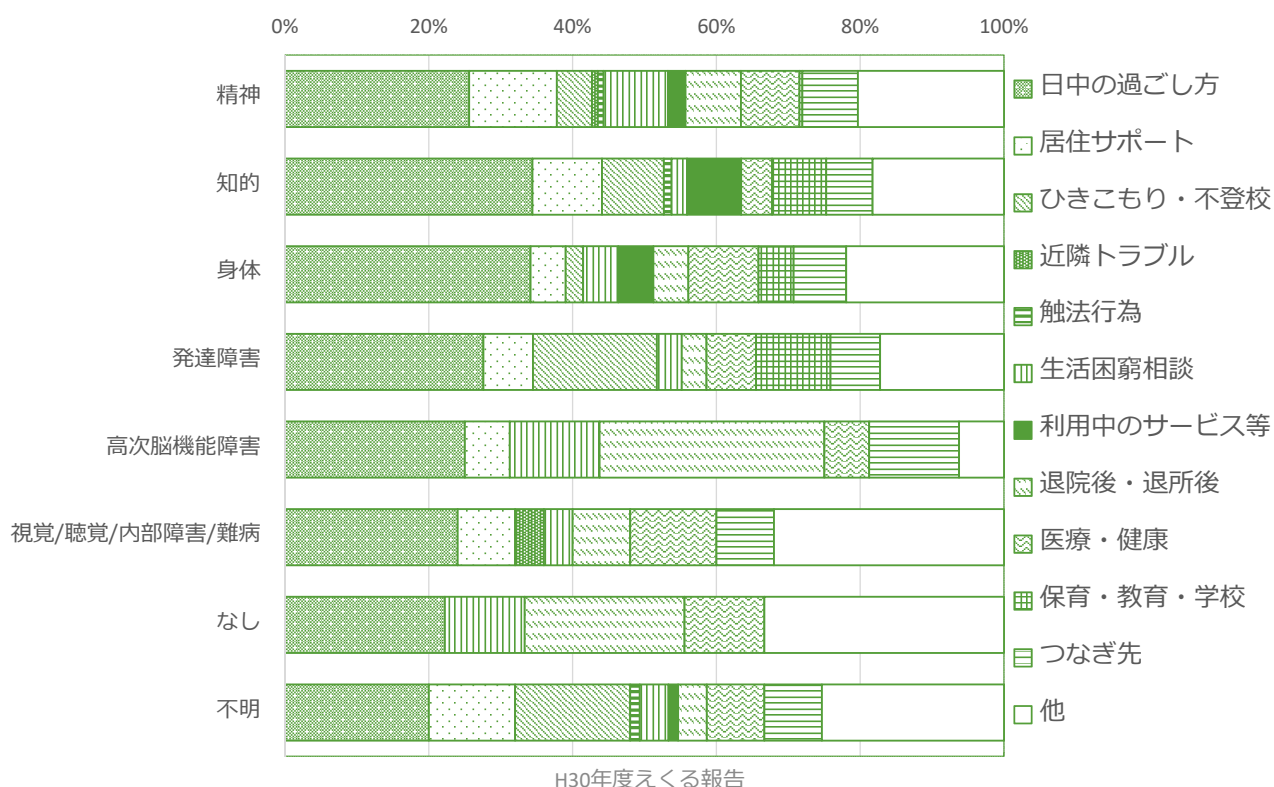
3-1.居住形態と相談概要



H30年度えくる報告



3-2.障害と相談概要



3-3.相談元と障害種別

※障害ごとに多い項目に
下線をしています

	肢体	内部	聴覚	視覚	難病	精神	発達	高次脳	知的	なし	不明	総計
本人	<u>9</u>	1		2	2	<u>69</u>	3	1	2	1	23	113
家族	<u>9</u>	2	1	1	1	33	<u>6</u>	2	<u>18</u>	1	13	87
市川市役所	7			2	1	<u>45</u>	<u>7</u>	1	15	1	10	89
千葉県関連				1		10	1	1	11		3	27
医療機関	1	1		1	1	23	3	<u>5</u>		1	3	39
市内障害福祉事業所	6				1	26	4	3	<u>21</u>	1	8	70
学校関係	1		1						12		2	16
警察										1	1	2
高齢者支援系	4			1		13		3	3	2	5	31
市外市役所						1						1
市外障害福祉関係	1				1	4	1		1		1	9
社協関連						1			2			3
生活困窮	2			2	1	16	3		5		1	30
虐待防止センター									1			1
その他	1				1	5	1		2	1	5	16
総計	41	4	2	10	9	246	29	16	93	9	75	534

H30年度えくる報告

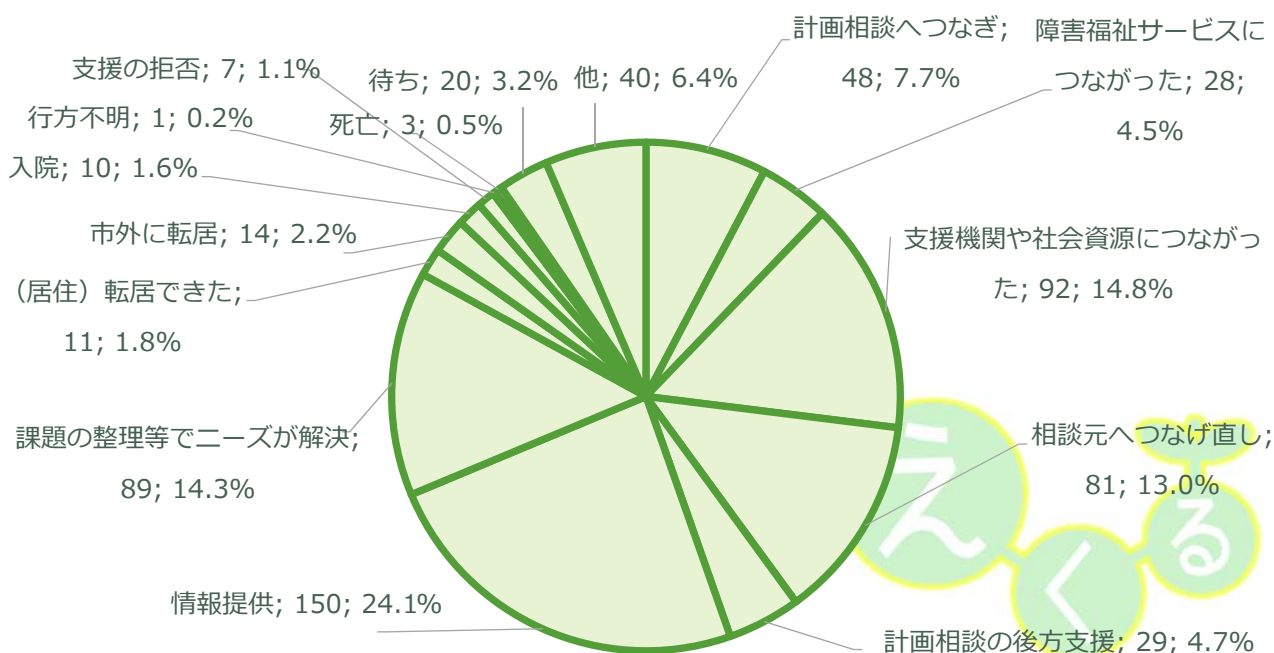
4.相談の終了



H30年度えくる報告

4-1.終了理由

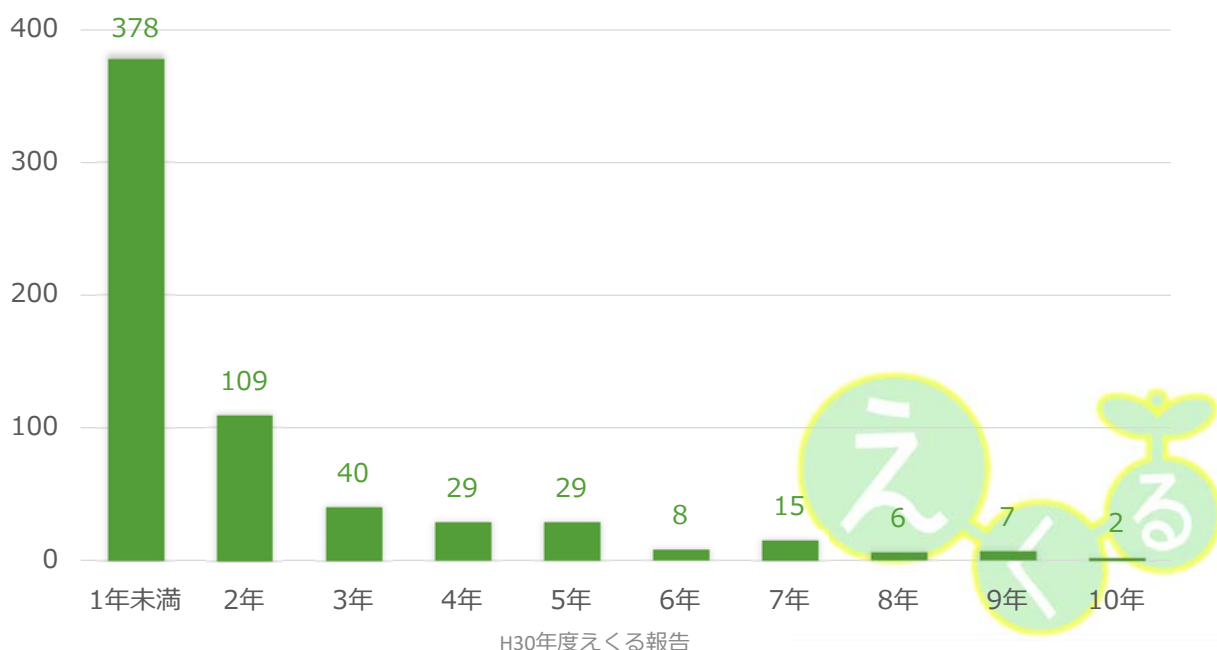
H30年度総計：623件



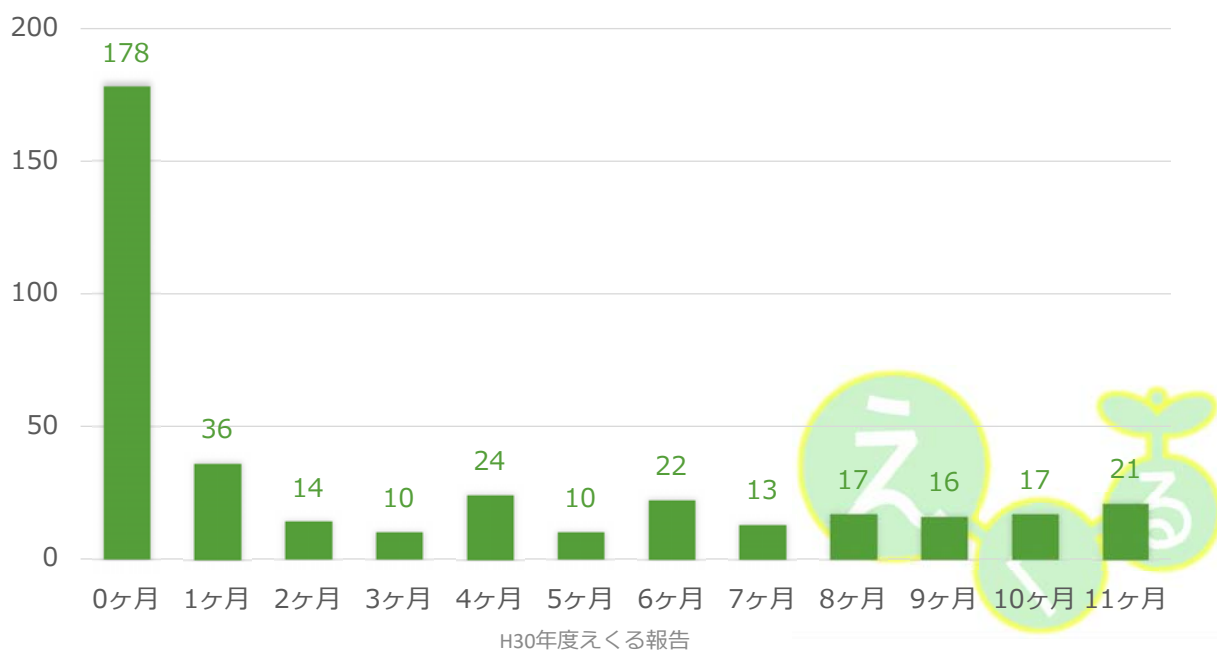
H30年度えくる報告

4-2①.終了までの経過日数

H30年度総計：623件



4-2②.終了までの経過日数(1年未満 詳細)

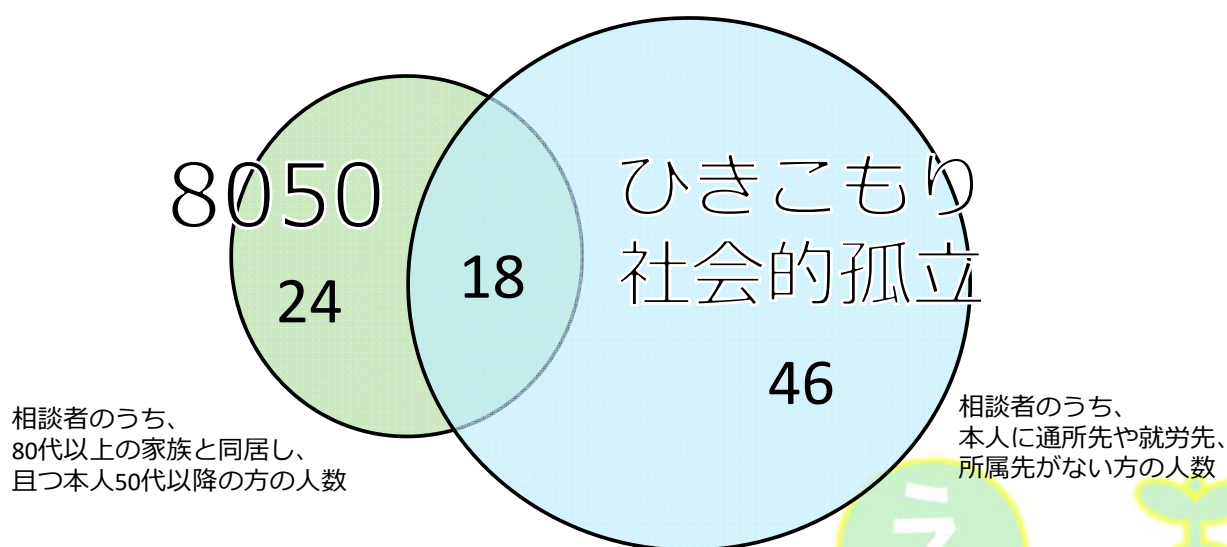


5.今年度の相談の傾向について



H30年度える報告

5-1.8050問題とひきこもり・社会的孤立

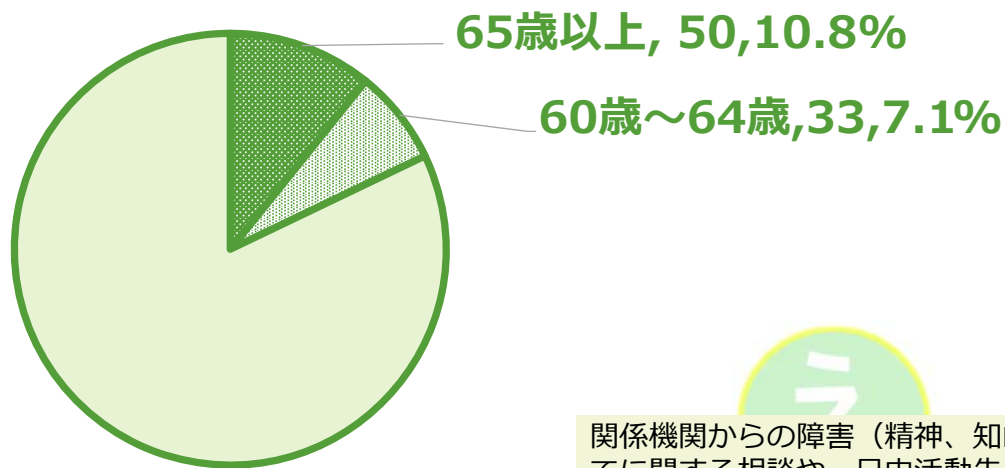


H30年度える報告



5-2①.65歳以上で障害のある相談者

65歳以上の相談者：50名



関係機関からの障害（精神、知的）の見立てに関する相談や、日中活動先についての相談が多くみられた。
住まい探しに関する相談も8件あった。

H30年度えくる報告

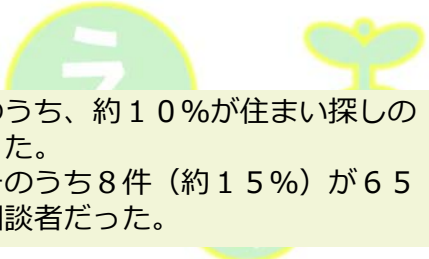
5-2②. 65歳以上の相談者の相談経路

本人	13	医療機関	5
—本人	13	—市外精神医療機関	1
家族	11	—市内医療機関	1
—子	3	—市内精神医療機関	3
—兄弟	3	市川市役所	4
—親	1	—介護福祉課	3
—配偶者	4	—(空白)	1
高齢者支援系	9	市内障害福祉事業所	4
—介護CM	2	—委託就労支援機関	1
—高サポ	6	—障害福祉サービス事業所	1
—(空白)	1	—相談支援事業所	2
警察	1	生活困窮	3
—行徳警察	1	—そら	3

H30年度えくる報告

5-3.居住サポート

相談者：55名（全体の10%）



新規相談のうち、約10%が住まい探しの相談であった。
さらに、そのうち8件（約15%）が65歳以上の相談者だった。

令和元年度 第1回基幹相談支援センター運営協議会 概要

- 【日 時】：令和元年7月2日（火） 午前10時00分～12時00分
【場 所】：急病診療・ふれあいセンター3階 障がい者支援課 支援ルーム
【出席者】：(メンバー) 朝比奈 近藤 武田 小原 高木 西村 山崎
保戸塚
(えくる) 長坂 松尾 芦田
(事務局) 野口 沓澤 夏見 石田
(傍聴) なし 合計15名

- 【議 事】：1 開会
2 実績報告・課題検討
3 閉会

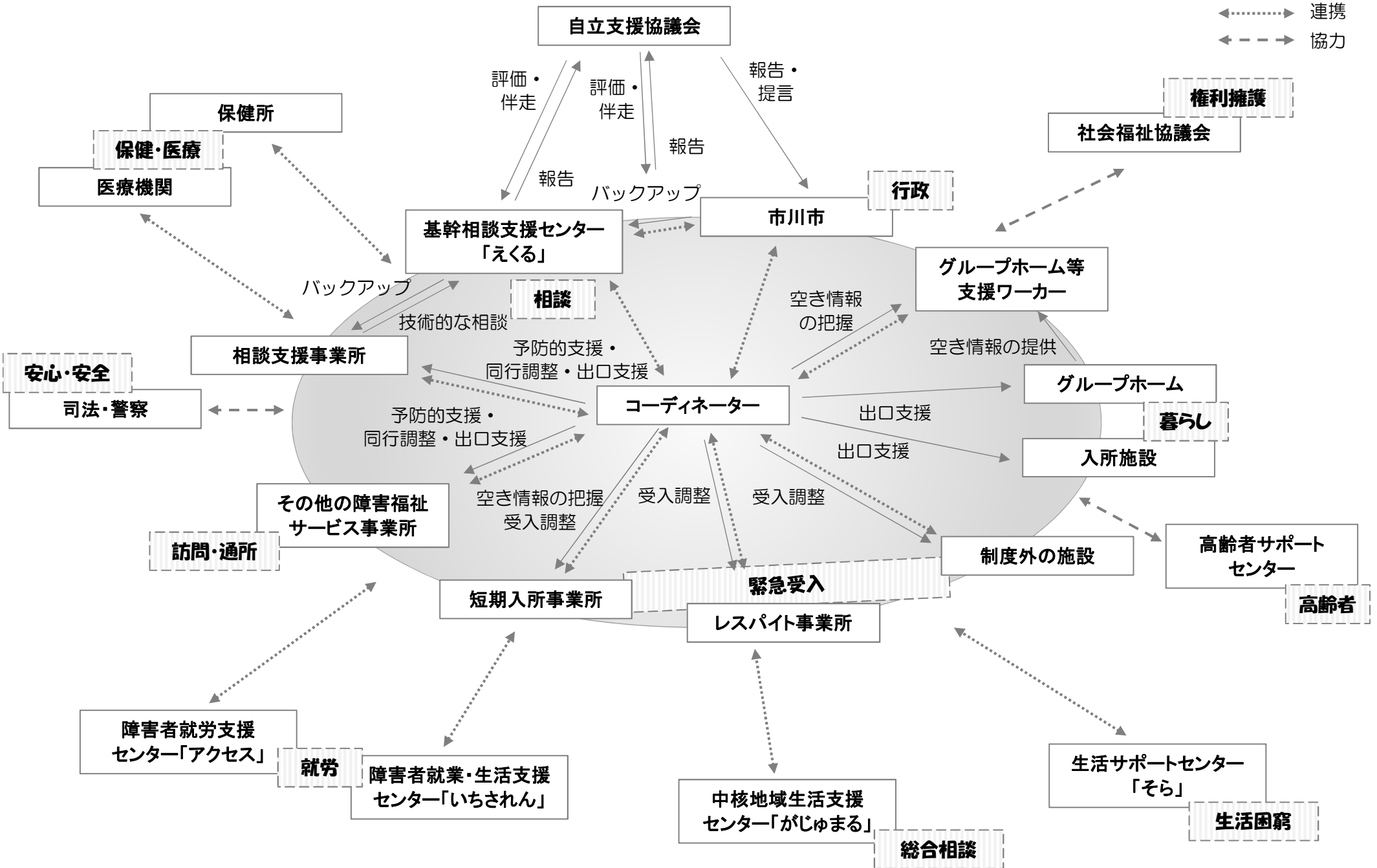
【主な意見・提案】：

- 1 地域にある相談機能（サービス管理責任者等）への働きかけ
 - サビ管・児発管の相談機能が上手く発揮されていない現状も見受けられる
 - 相談支援の質の向上とともに、サビ管・児発管の質を向上させる必要があるのではないか
 - 地域における事業所の質の向上の仕組みの構築が必要
 - 自立支援協議会の課題として扱う必要あり
- 2 高サポとの連携、8050世帯への介護と障害の連携
 - 特に「住まい」と「精神障害」が高サポの苦手分野という印象で、基幹に流れてくる現状
 - 高サポ向けの研修を基幹が開催しても良いのでは
 - お互いの業務範囲の確認と共通理解の必要性、行政内での具体的な仕組みの構築
- 3 措置入院退院者への支援
 - 圏域で毎年30～40件程度だが、県においては事業化の予定なし
 - 保健所と基幹、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業とで一度調整
- 4 虐待防止センターにおける対応フローの確認と法的な助言を受けられる体制づくり
 - 虐待認定のルール化や終了の基準を作る必要性
 - 目黒や野田の事件を受けて、基幹として法的な助言を受けられる体制をどのように整えるのか
 - 次回以降の運営協議会で、フローを提出の上、検討

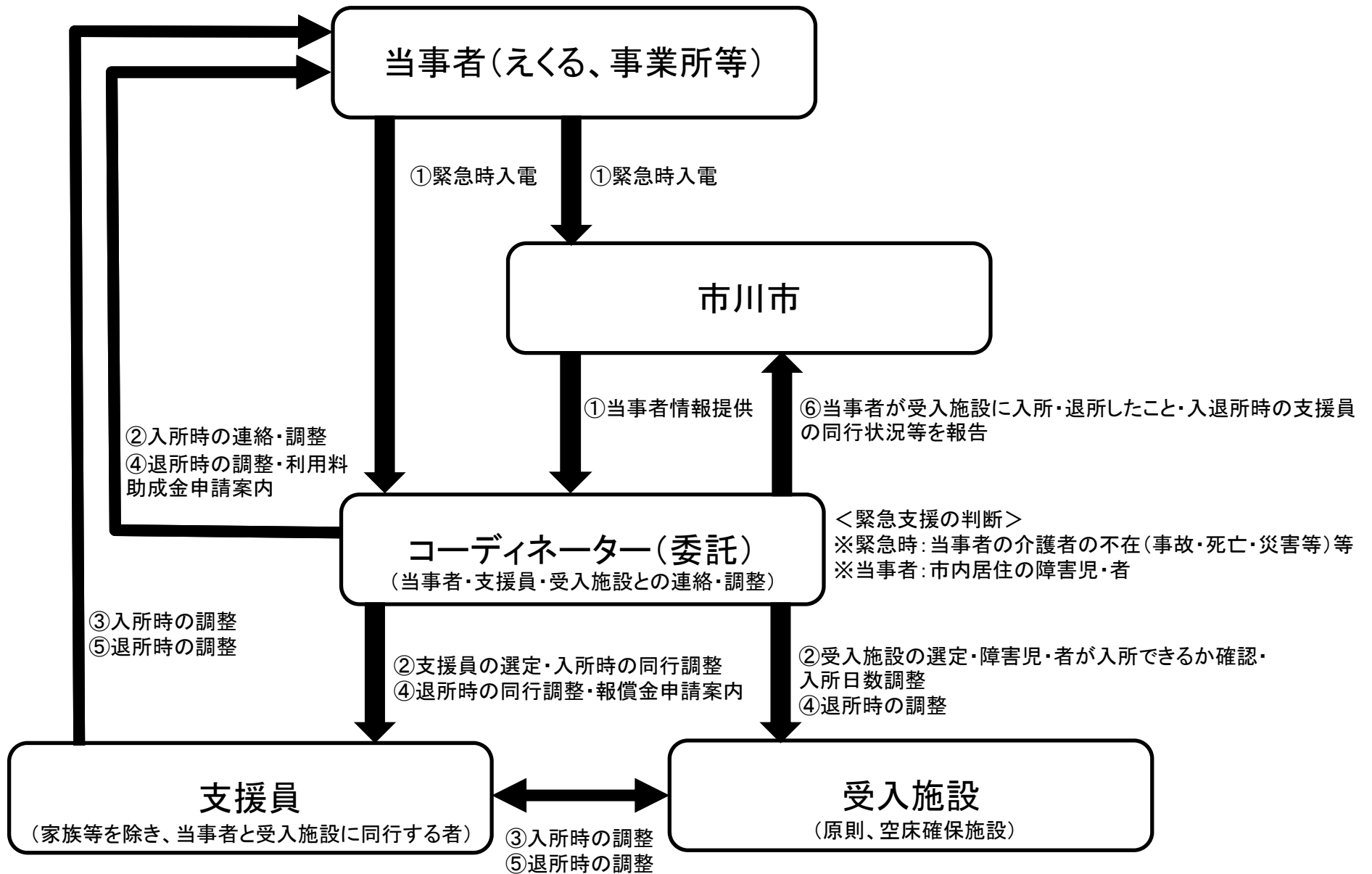
市川市における地域生活支援拠点ネットワークのイメージ図(整備当初のもの)

資料4-1

←.....→ 連携
 ←- - -> 協力



【緊急時の施設受入イメージ(案)】



さとみ



発行：市川市ろう者協会 発行人：浅野史行 編集：広報部
〒272-0023 市川市南八幡2-24-19 (朝香敬子方) 市川市ろう者協会事務局
FAX：047-711-2265 mail：asahi0485@gmail.com

市ろう協 ホームページ ようやく 開設!!

▼QRコード



QRコードを読み取って、自動的にログインページにアクセスするか、以下のURLに直接アクセスしてください。

URL <http://deaf-ichikawa.jp/>



長らくお待たせしましたが、当協会のホームページがようやくオープンいたします。まだ一部のページは工事中ですが、一通りの完成を目指して、担当者が寝食を忘れて取り組んでおります。

どこかのホームページのように、8月半ばも過ぎたのに表紙が門松のままじゃないかななどと言われられないように、日々の更新にも相務めますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(広報部 HP担当)

社会福祉協議会の助成金… 年度途中、突然の大幅変更は止めて！

以前から、市川市には障害者団体を対象とした補助金枠が設けられており、市の補助金は社会福祉協議会（社協）の助成金（共同募金の寄付などが原資）と一括し、福祉団体助成金として、各団体の規模や活動状況を勘案して、社協から各団体に交付されてきました。

今年度は4月の終わり頃になって、社協から福祉団体助成金の配分方法と配分金額を見直し、向こう2年間、助成額は3万円とするとの通知を受けたのですが、多くの団体では年度初めの4月に総会を開催して当年度の事業計画と予算案を承認し、それに基づいて1年間の活動を行っています。今回のように、年度途中の大幅な交付方法や金額の変更は、1年間の事業を実施するにあたって大きな支障や混乱が生じてしまいます。こういうことは、遅くとも前年度中には通知してもらいたいと思います。

また、①3万円の助成金は各障害者団体に一律に交付されること、②一律に交付される助成金とは別に、各団体が事業を行う場合、申請に基づいて、必要な費用の半額が助成されるように改めるとのことです。

市川市障害者団体連絡会には21団体が加入しています。加入団体の規模や活動内容は様々であり、さらに、任意団体としての仕組みを持ち合わせているかどうかのチェック機能が明らかでなかったり市川市の市域を超えた広域的な団体も加入している等々の状況があるにもかかわらず、助成金の一律交付というやり方がはたして実態をきちんと反映した妥当なものかどうか、ぜひ検討してもらいたいものです。（浅野史行）

陽春デフサロンさとみは大好評でした!!

平成31年4月14日(日)13時～16時30分、全日警ホール第3会議室で陽春デフサロンさとみ&平成31年度定期総会を開催いたしました。市の障がい者支援課から高橋やす子課長、また当会顧問 千葉光行先生がそれぞれ来賓としてご挨拶されました。

- ・陽春デフサロンさとみ 講演
テーマ 「AEDの使用方法について」
講師 市川市消防局救急課応急手当指導班主任 岡部光信 氏
消防士 小川千亜希 氏
- ・平成31年度定期総会では以下の審議を行い、全て承認されました。
平成30年度活動報告・決算報告
平成31年度活動計画・予算案



司会を務める 峯理事

参加人数：44名
(当会正会員20名、準会員1名、輪の会8名、汐風1名、市川班1名、その他5名)



障害者支援課が「障がい者」支援課 に表記変更…決め方はこれでいいのか？

この4月から、障害者支援課の表記が「障がい者」支援課に変更されました。表記変更の理由を障害者支援課に聞いたところ、多くの職員が4月になって初めて表記が変更されることを知ったとのこと、文字通り寝耳に水だったようです。また、この表記変更のことは市川市自立支援協議会や市川市障害者団体連絡会（当協会も加入）などにも、事前にまったく知らされることがなかったとのことでした。

今回、千葉県内37市の障害福祉課などがどのように表記されているか、当方でとりあえず調べてみたところ、現時点では「障害」を用いている自治体の方が多くなっています（「障害」が市川を含めて21市、「障がい」が16市）。

障害を「障がい」と表記することについては、様々な意見があり、国としてもまとまっていません。障害当事者からも「障害」の表記で構わない、「障がい」の表記には違和感があるという意見が出されています。

このように様々な意見がある現状では、障害者基本法の理念「当事者抜きにものごとを決めないで」に則って、当事者を含めて十分に議論を尽くし進めて行くべきでしょう。一部の意見で性急に事を進めるようなことであれば、「市民が主役」の市政が泣くというものです。（浅野史行）

デフサロンさとみの講演「AEDの使用方法について」は高い関心が持たれ、講師は質問攻めでした。



当会顧問の千葉光行先生が来賓として挨拶されました。



来賓の挨拶をされる高橋やす子障がい者支援課長



土谷理事が体験参加



応急手当指導の消防士の方



薄夏のデジキューンさともみは大盛況!!

バーベキュー交流会

日時：令和元年5月26日（日）
11時～14時
場所：デジキューBBQテラス
（津田沼パルコ店 屋上）



バーベキュー交流会

まだ5月だというのに30度を越えた週末、26日に「デジキューBBQテラス 津田沼パルコ店」にて27名（ろう15名 健聴12名）の参加で行われました。去年までは大洲防災公園でしたが、予約が取れず「手ぶらバーベキュー」ができる屋根付きの会場で行いました。食材の予算の都合で高級和牛ステーキを用意できなかったのが残念でしたが、「質より量」お腹いっぱい満足して頂けたと思います。熱中症もなく楽しく交流ができたのは良かったです。3時間という時間制では物足りず、半数ぐらいの猛者達がドッと二次会へと繰り出しました。参加して頂いた皆様、お手伝いをして頂いたスタッフに感謝感謝です。

【文化レク部；小田茂】



第37回東葛飾地区ろうあ者スポーツ交流会の報告

- 開催日時：令和元年6月1日（土）9時～17時
- 会場：習志野市東部体育館
- 主催：社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会
- 第37回東葛飾地区ろうあ者スポーツ交流会実行委員会

チーム名	市川市 浦安市	八千代市 A	八千代市 B	習志野市	松戸市	流山市 野田市 A	流山市 野田市 B	船橋市 A	船橋市 B	勝	負	引	順位
市川市 浦安市		△ 8-8	× 9-12	○ 14-2	○ 9-7	× 4-16	× 4-14	× 7-10	× 2-19	2	5	1	6位
八千代市 A	△ 8-8		○ 13-5	○ 9-7	× 8-9	× 7-13	× 9-13	× 4-14	× 7-9	2	5	1	6位
八千代市 B	○ 12-9	× 5-13		× 8-10	× 10-11	× 4-17	○ 14-7	× 5-13	× 8-14	2	6	0	7位
習志野市	× 12-14	× 7-9	○ 10-8		× 3-13	× 6-11	× 8-10	× 5-11	× 3-15	1	7	0	8位
松戸市	× 7-9	○ 9-8	○ 11-10	○ 15-3		○ 10-3	× 4-17	○ 13-4	○ 11-8	6	2	0	3位
流山市 野田市 A	○ 16-4	○ 13-7	○ 7-4	○ 11-6	× 3-10		× 7-14	× 8-11	○ 15-2	5	3	0	4位
流山市 野田市 B	○ 14-4	○ 13-9	× 7-14	○ 10-3	○ 11-4	○ 14-7		△ 7-7	○ 14-8	6	1	1	優勝
船橋市 A	○ 10-7	○ 14-4	○ 13-5	○ 11-5	× 4-13	○ 11-8	△ 7-7		○ 12-7	6	1	1	準優勝
船橋市 B	○ 19-2	○ 9-7	○ 14-8	○ 15-3	× 8-11	× 2-15	× 8-14	× 7-12		4	4	0	5位

決勝戦：船橋A 2-14 流山・野田B

本大会は昨年に続き、ヘルスバレーボール競技として実施しました。当日は「江戸川クリーン大作戦」と重なり、市川市からの参加者が少なかった為、浦安市と合同して参戦しました。ヘルスバレーボールはソフトバレーボールと少し違って難しかったが、楽しめました。対戦はリーグ戦方式（9チーム）で行いました。過去最高の91名が参加し、非常に盛り上がりました。

【報告；百瀬由紀子】

ますますごみが少なくなった!!

…江戸川クリーン大作戦…



こんなに少ないの?
ごみを探すのが一苦労でした。



日時：令和元年6月1日(土)午前9時～10時

拾集場所：江戸川河川敷

参加人数：市川市ろう者協会 4名

輪の会 4名

汐風 1名

計9名

昨年から実施日が日曜日→土曜日に変わりました。参加団体は昨年より増えて41団体でしたが、参加人数は1,011名で減少しました（平成25年度は2,066名）。収集したゴミの量は3年連続で1トン进行、今年は0.89トンでした。

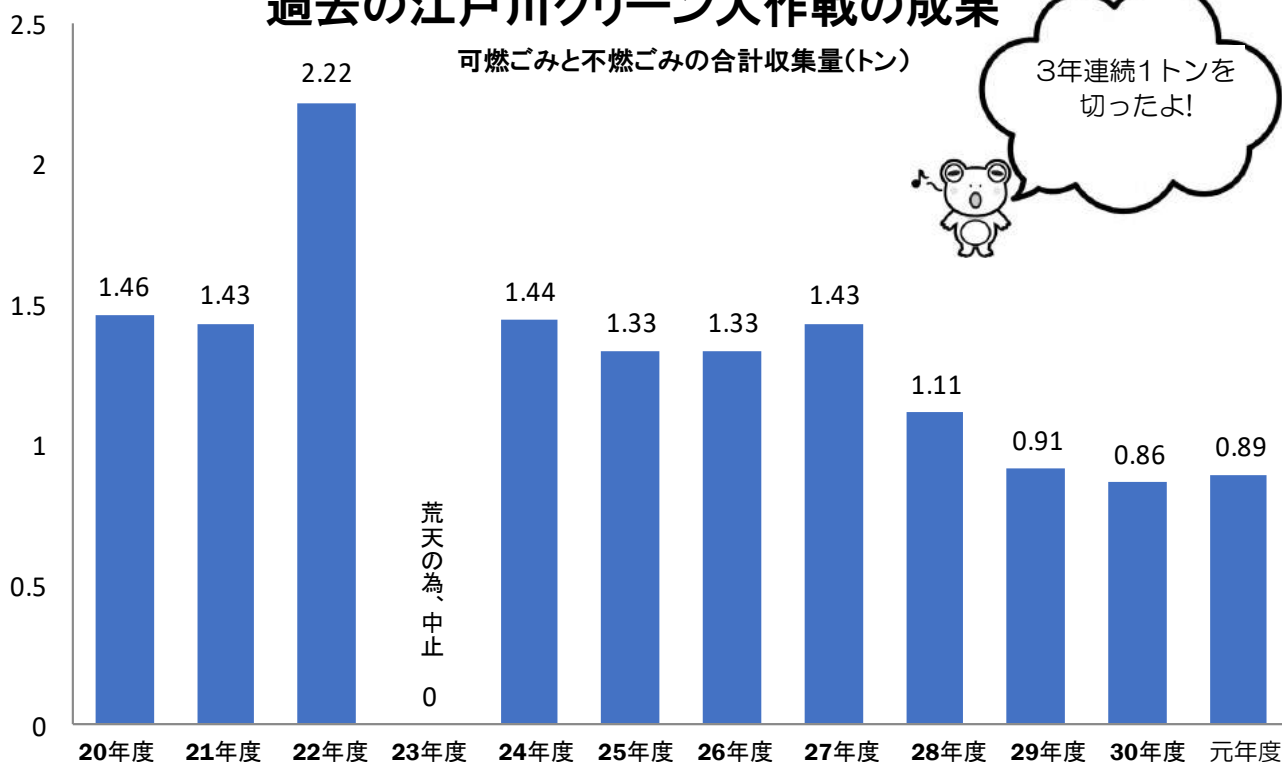
毎年クリーン大作戦を行ってきた結果、江戸川河川敷の環境美化が進んだためでしょう。（下のデータをご参照ください。）

晴天下、朝早くから汗を流してごみを拾ってくださった皆様、ありがとうございました。（井上雅博）



お疲れさま!
汗を流してごみを拾ったあとの充実感!!

過去の江戸川クリーン大作戦の成果



3年連続1トンを切ったよ!

千葉県ろう重複障害者施設をつくる会と千葉聴覚障害者情報提供施設運営事業後援会が一本化してから2年経ちました。

令和元年度

第1回 総武ブロック一斉街頭カンパ活動

☆次の日程で実施(予定)☆

日時:令和元年7月7日(日)

10時~14時

場所:JR市川駅周辺、JR本八幡駅周辺



当日、お買い物等で市川駅・本八幡駅においてになった方は、ぜひ募金にご協力をお願いいたします!!

予告

秋のデフトラベル2019

日程・場所が以下のとおり決定しました!

日程 令和元年11月23日(土・祝)~24日(日)

場所 秩父地方の温泉 他

※ 詳細は次号(9月)もしくは当会ホームページでお知らせいたします



養成講座・市民手話教室…今年度も実施!!

手話奉仕員養成講座(前期・後期)と同・市民手話教室は市川市が主催し、市川市ろう者協会が運営を委託されています。市民の方の関心は高く、今年度もいずれも定員を超える受講希望者がありました。

日程は次の通りで、一部の講座がすでに始まっています。

★手話奉仕員養成講座

前期 6月8日(土)~ (会場:急病診療ふれあいセンター)

後期 6月29日(金)~ (会場:全日警ホール)

★市民手話教室(15回)

7月4日(木)~ (会場:行徳公民館)



ピア・カウンセリング市川(6月～9月)

令和元年度も 市役所仮本庁舎 障がい者支援課 で実施します！

「ピアカウンセリング」とは、同じ障害を持った人が仲間（ピア）として相談を受け、自らの経験をもとにアドバイスしたり、一緒に考えたりします。

日時：月2回、第2火曜日・第4火曜日 午前10時～12時（場所：市役所仮本庁舎 2階）
令和元年 6月25日、7月9日、7月23日、
8月13日、8月27日、9月10日、9月24日
カウンセラー：植野 都

※ご希望の方は、事前にご予約くださるようお願いいたします。

予約連絡先：障がい者支援課（平成29年5月8日からFAX番号が変わりました）
FAX 047-712-8727（☎ 047-334-1111）

相談内容：教育（親子）、人間関係、職業、健康、介護、医療、結婚、離婚、出産、子育て、コミュニケーション等、気になること、悩んでいることなどをお気軽にご相談下さい。

相談内容の秘密は絶対に守りますので、安心して一緒にお茶でも飲みながら、お話しませんか。



【市川市からのお知らせ】

手話通訳・要約筆記の派遣を依頼するときは、障がい者支援課へ

市川市の「手話通訳者・要約筆記者派遣事業」は、市役所仮本庁舎「障がい者支援課」で行っています。

手話通訳・要約筆記の派遣を依頼するときは、障がい者支援課にご連絡ください。

連絡先 FAX：047(712)8727（平成29年5月8日から変わりました）
電話：047(334)1111

受付時間 月曜日～金曜日 午前8時40分～午後5時00分
（土・日・祝祭日・年末年始はお休みとなります）

申請方法 FAX・窓口での申請をお願いいたします。

派遣時間 午前8時～午後10時まで

費用 無 料



不明な点がございましたら、市川市役所仮本庁舎 障がい者支援課までご連絡をお願いいたします。

■連絡先 市川市役所仮本庁舎 障がい者支援課

（平成29年5月8日から変わりました）

FAX：047(712)8727 障がい者支援課直通

電話：047(334)1111 市川市役所仮本庁舎（電話番号変更ありません）
担当（手話通訳者 奥山/松岡/平川(月～金)、要約筆記者 金田(月・木)）まで

会員募集中！

ぜひ

平成30年度は 64名

本年度会員数 45 名!! (6月21日現在)

市川市ろう者協会にご入会ください！



会費のご説明

令和元年度もぜひ会員継続をお願いいたします。

- ◆市川市ろう者協会の会費：単国会費2,000円、夫婦会費3,000円
- ◆(社福)千葉県聴覚障害者協会の会費：1名につき15,000円<減免制度あり。下記参照>
- ◆会費は市会費・県会費の一括納入をお願いしています。30年度もぜひ一括納入にご協力ください。
<市川市ろう者協会のみ入会の場合の会費は5,000円です。(市外のろう者のみに適用)>
- ◆千葉県協会体育部会員(全国ろうあ者体育大会、関東ろう者体育大会に参加希望の方)の会費は、必ず市川市ろう者協会を経由して納入することになっています。ご協力ください。

<減免制度適用後の会費(実際の納入額、1年分)>

(社福)千葉県聴覚障害者協会会費	15,000円/1名				
一人または一組の 県協会会費 <実際の納入額>	減免額		高年齢者 : 2,000円/1名 夫婦 : 2,000円/1組(夫婦の場合1名につき1,000円減額)		
	会員	高年齢者	夫婦	夫婦の一方のみ高年齢者	夫婦ともに高年齢者
	15,000円	13,000円	28,000円	27,000円	26,000円
市川市ろう者協会	2,000円	2,000円	3,000円	3,000円	3,000円
合計の納入額	17,000円	15,000円	31,000円	30,000円	29,000円

※県協会会費(1名分)には、下記の登録料が含まれています：

全日本ろうあ連盟登録料：2,500円 関東ろう連盟登録料：500円

■会費お払い込みの方法(3通りあります。)

①郵便局備え付けの振替用紙をご使用の場合

口座加入者名：市川市ろう者協会 口座番号：00140-9-151023

②他金融機関(銀行など)からのお振り込みの場合

振込用口座番号：〇一九(ゼロイチキユウ)店(019) 当座 0151023

※①②をご利用の場合、申し訳ありませんが、手数料をご負担くださるよう、お願いします。

③当協会理事に会費を直接お預けになる場合、まずは下記宛にお問い合わせください。

市川市ろう者協会 会計部 会費等集金担当 立本和子 FAX 047-396-4727

傍聴大歓迎！

市川市ろう者協会 月例理事会

開催日：毎月第1金曜 19時～21時 会場：市川公民館 第1会議室

当協会に関するお問い合わせは、下記宛にお願いします：

市川市ろう者協会事務局(朝香敬子)

FAX：047-711-2265 mail：asahi0485@gmail.com

市川市ろう者協会会報 さとみ第133号
令和元年(2019年)6月22日発行
発行人 浅野史行 編集 広報部
発行 市川市ろう者協会



本人と家族のこれからの暮らしを考える
—本人の加齢と、家族の高齢化に備えて—

ハチマルゴーマル

障害のある人と家族にとっての8050問題を考える



8050問題—80代の親が50代の子の生活を支えている—が世間を騒がせています。私たち家族にとっても、自身の高齢化と子の加齢は、不安が尽きない課題で、様々な視点から学んできました。今回あらためて、この市川で、障害のある人と家族の迫り来る8050問題をどうしていくのか、何を準備していくのかを、行政や支援者と一緒に考え、一歩二歩進むきっかけにしたいと思います。そこで、この深刻な問題を背負う代表者でもある全国手をつなぐ育成会連合会の久保厚子会長をお招きします。とことんお話を伺いましょう。是非ともご参加ください。

- 日時 10月 2日(水) 午前10時～午後1時まで
(長時間になるため、途中で、おやつタイムを設けます!)
- 場所 全日警ホール 2階 第3会議室 (市川市八幡市民会館)
- 内容
 - 1. 講演 「育成会として8050問題をこう考える」
講師 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保厚子氏
 - 2. 親の発言 お二人から
 - 3. シンポジウム 「市川における8050問題をどう考えて行くか」
シンポジスト ①障がい者支援課課長 高橋やす子氏 ②えくる 芦田真伍氏
③一路会 嶋田弘志氏
コーディネーター いちばん星 森田美智子氏 助言者 久保厚子氏

申し込み方法

○所属評議員がいる方・・・下記の申し込み用紙を評議員さんを通して9月10日の理評会に提出。
FAXで申し込みも可です。

○一般・OB会員など・・・下記の申し込み用紙に記入し、そのままFAXしてください。

主催 市川手をつなぐ親の会「本人と家族の暮らしを考える会」成人部

問い合わせ先 平野 090-3817-5278 FAX 371-6996

キリトリ線

「本人と家族のこれからの暮らしを考える」講演会&懇談会10月 2日 に参加をします。

(fax の場合は切り取らずにこのまま fax してください) 平野 FAX 371-6996

参加者お名前

所属

電話

1			
2			
3			

市川市市民講座

ASD(アスペルガー)的 あなたの特徴を知ろう

～いよいよどうにかしたいと思っているあなたへ～

日時：令和元年11月4日（月・祝）
14：00～16：30（受付開始 13：30～）

会場：全日警ホール

（八幡市民会館）
市川市八幡4-2-1

子どもの頃は
大丈夫だった
のに・・・

講師：石田智郎 氏

（発達パートナーズ代表）



参加費：無料 定員：100名（先着）

発達障害は脳機能による先天的な発達のデコボコと環境のミスマッチで起きる障害で、幼少期から現れると思われがちです。しかし、大人になってから社会との接点により現れることも多く、コミュニケーションのズレ等から生きづらさを感じ、実際に診断を受けたり、自身もそうではないのか？と悩まれる場合も増えているようです。

今回は発達障害“グレーゾーン”で「発達パートナーズ」という団体を立ち上げた当事者である石田氏に当事者目線でのASD（アスペルガー）の特徴と自らを知るためのヒントをお話しいたします。

主催：社会福祉法人サンワーク

後援：市川市

認定NPO法人地域精神保健福祉機構コンボ

申込み締切：10月21日（月）※申込方法は裏面をご覧ください
お問合せ：南八幡メンタルサポートセンター
電話：047-376-6466 E-mail: mental@sunwork.biz

講師プロフィール

石田 智郎 (いしだ ともろう) 氏

1983年生まれ。発達パートナーズ代表。

資格：一般社団法人日本医療福祉教育コミュニケーション協会認定

発達障害コミュニケーション指導者・GCS認定コーチ（コーチングのプロ資格です。）

幼少期より、他人との感覚のずれを感じながら育つ。そのことからコミュニケーションに悩みを抱え、人とのかかわり方を模索し続ける。

32歳のときに自分は発達障害ではないかと疑い、医療機関を受診し“グレーゾーン”との診断。以来、自分と同じように生きづらさを抱える人のサポートを志し、主にグレーゾーンを対象としたイベントのファシリテーターや司会を務め、当事者の声を多く集める。その中で、生きづらさの解消には才能発掘や自分軸の確立が必要であると感じ、コーチングの技術を習得し独自のメソッドを開発。

交通

JR総武線本八幡駅北口から徒歩約8分

都営新宿線本八幡駅から徒歩約8分

京成線京成八幡駅から徒歩約5分

駐車場17台（20分100円）

※台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※自転車でお越しの場合は指定の駐輪場にお止ください。



申し込み

申し込み方法：FAX または E-mail

申込み先：南八幡メンタルサポートセンター

FAX：047-376-3939 E-mail：mental@sunwork.biz

申し込み締切：10月21日（月）必着

※定員になり次第、締切ますのでお早めにお申し込みください。

FAX用申し込みフォーム

※メールでのお申し込みの方も以下の情報をお知らせください。

	(フリガナ) 参加者氏名	電話番号 / FAX	E-mail	●配慮が必要な方 (車椅子・手話・要約筆記等)
1				
2				
3				
4				

※定員となった場合、ご連絡差し上げることがございます。
ご氏名と連絡先を必ずご記入お願いいたします。

※頂いた個人情報は当該講座のみに使用いたします。

市川市の相談支援を考える

2019年10月24日（木）先着30名

10:30~12:30（受付10:00~）

市川市全日警ホール 第三会議室

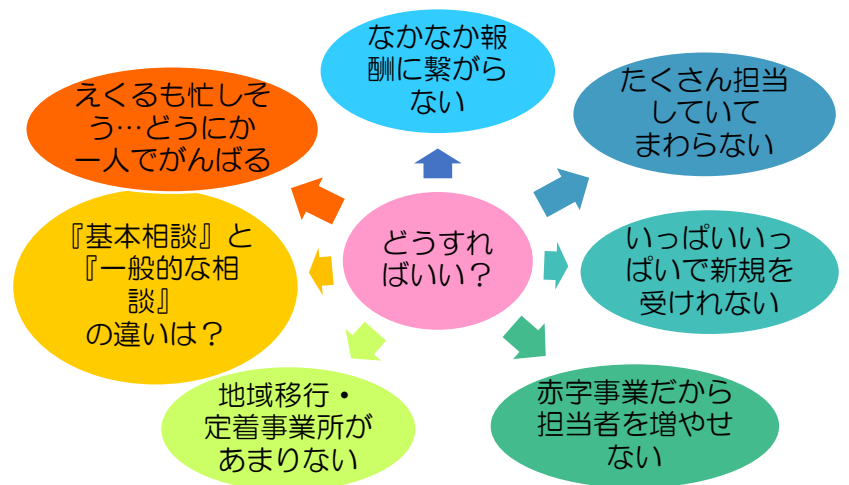
（市川市八幡4-2-1）

100%相談支援がついていない現状。

運営していくには100名くらいと契約しないと事業としてまわらない・・・

基本相談と一般的な相談のすみ分けは？

市川市の課題について現場の声を聞かせてください。



講師 **高木 憲司** 氏 和洋女子大学准教授

家政福祉学科 家政福祉学専攻生活科学系 家政福祉学

国立別府重度障害者センター 主任理学療法士、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室 福祉用具専門官、胴部障害福祉課 障害福祉専門官、課長補佐を経て、現職へ。

「障害福祉サービスにおける質の確保とキャリア形成に関する研究」、「相談支援専門員及びサービス管理責任者等の専門知識等の向上並びに高齢化対応を含めた連携促進のための研究」など厚生労働科学研究を実施。厚生労働省障害福祉サービスのワーキンググループ作業チーム委員等を務める。

現在、浦安市自立支援協議会会長、市川市自立支援協議会副会長等、各自治体における障害福祉関係で幅広くご活躍されております。

お申込み・お問合せ

Is-net 事務局：南台五光福祉協会 やまぶき園 近藤

TEL：047-320-7241 FAX：047-339-5561

〆切 10月 4日(金) 必着
(Is-net 非会員の方、先着 30名)

FAX:047-339-5561 / E-mail: yamabuki@dream.email.ne.jp

南台五光福祉協会 やまぶき園 近藤宛

※送信表は不要です。

事業所名		聞きたいことの 有・無
連絡先		
参加者氏名		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無

高木先生と一緒に話し合いたいこと・聞きたいこと・伝えたいことなどご記入してください。

Large empty space for writing, enclosed in a large rounded rectangle.

利用者がメリットを

実感できる後見制度へ

～市川に権利擁護支援のネットワークを構築していくために～

日時：令和元年11月9日（土）

14時00分～16時20分

（受付開始：13時45分）

定員 110名

申込先着順!

会場：市川教育会館3階 多目的ホール

対象者：障害福祉関係者・介護保険関係者等

講師：川端 伸子 さん

（厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 成年後見制度利用促進室
成年後見制度利用促進専門官）

【開催趣旨】成年後見制度は判断能力が不十分な人たちにとっての権利擁護支援の有効なツールとして利用されていますが、一方で、課題も多く利用が広がっていません。そこで国は、平成28年に成年後見制度利用促進法を、続いて基本計画を定めました。この研修会を通して、制度の内容を知り、市川における権利擁護支援の仕組みをどう作っていくかを考える機会としたいと思います。

【略歴】ケアワーカー、医療ソーシャルワーカーを経て、H18.4より東京都老人総合研究所に入職。介護予防区市町村サポートセンターにて権利擁護、高齢者虐待についての相談・研修を担当。H21.4より東京都福祉保健財団高齢者権利擁護支援センターの専門相談員、センター長、アドバイザーを務める。H30.4より現職。

【主な著書】「エピソードで学ぶ成年後見人 Part2」共著（民事法研究会）、「事例で学ぶ「高齢者虐待」実践対応ガイド 地域の見守りと介入のポイント」共著（中央法規出版）他多数

【講師からのひとこと】ご本人らしい生活が守られ、ご本人の力が発揮できる共生社会の一手段として成年後見制度が活用されるために、地域の実情に応じた地域連携ネットワーク構築の支援をしていきたいと思っています。

問合せ：市川市 障がい者支援課

電話：047-712-8516

FAX：047-712-8727

FAX

(送信票は不要です。そのまま送信してください)

送信先 市川市 障がい者支援課

FAX：047-712-8727

メール：shogaishashien@city.ichikawa.chiba.jp

【参加希望者】

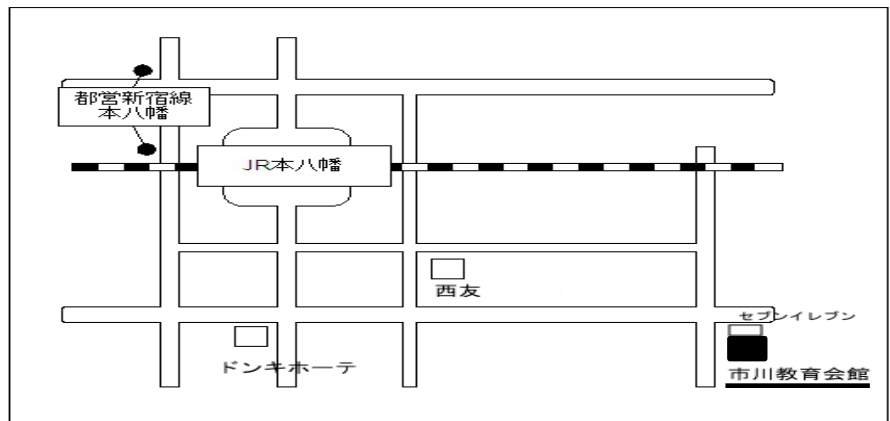
(ふりがな) 氏名	所属	電話・FAX等	備考
			送信者

※車椅子・手話通訳・要約筆記等の配慮が必要な方は、備考欄にお書きください。

【会場案内図・アクセス】

JR総武線本八幡駅南口

より徒歩約6分



※駐車場のご用意はありませんので、公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。